

カメラとの通信用ソフトウェア

EOS Utility

Ver.2.5



使用説明書

● 本使用説明書上のおことわり

- 名称の EOS Utility を EU と表記しています。
- カメラの名称をアイコンで示しています。
例：EOS-1D Mark III →
- は対象カメラを示しています。
- Mac OS X 10.4 を使用した画面を例に説明しています。
- ▶ の手順は、メニューの選択順序を示しています。
(例：メニューの [ウィンドウ] ▶ [メイン画面] を選ぶ)
- [] 内の語句は、パソコン画面上に表示されるメニューやボタン、画面の名称を示しています。
- < > 内の語句は、カメラのスイッチ名称やマーク、キーボードのキー名称を示しています。
- p.** の ** は、参照ページを示しています。
また、クリックすると参照ページが表示されます。
- : 注意事項です。
- : 補足説明です。

● ページの移動

- 画面右下のマークをクリックします。
 - : 次ページ
 - : 前ページ
 - : ひとつ前に表示していたページに戻る
- 画面右端に配置された章見出しをクリックすると、章目次のページが表示されます。さらに、目次の読みたい項目をクリックするとそのページが表示されます。

はじめに

 やりたいこと
目次

 1
画像取り込み

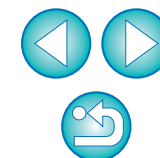
 2
カメラ設定

 3
リモート撮影

 4
環境設定

資料

索引



はじめに

EOS Utility (以降 EU と表記) は、EOS DIGITAL カメラとの通信ソフトウェアです。カメラとパソコンをカメラに付属のケーブルで接続すると、カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像をパソコンに取り込んだり、カメラの各種設定やリモート撮影をパソコン上の EU から行うことができます。

EU でできること

EU からカメラをリモートコントロールして、主に次のことができます。

● カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像を一括してパソコンへ取り込む

- 選んだ画像だけをパソコンに取り込むことも可能

● パソコンからの各種カメラ設定

● パソコンからカメラを制御したリモート撮影

- パソコンでリアルタイムに被写体を確認しながら撮影できる「リモートライブビュー撮影」に対応
- カメラのシャッターボタン操作によるリモート撮影にも対応
- 設定した時間でカメラが自動撮影を行うタイマー撮影

● 画像取り込み時、リモート撮影時に連携動作する

デジタル フォト プロフェッショナル
Digital Photo Professional で、画像を即閲覧／確認

動作環境

OS (オペレーティングシステム)	Mac OS X 10.4 ~ 10.5
機種	上記の日本語版 OS がインストールされていて、USB 接続部を標準装備した Macintosh
CPU (シーピーユー)	PowerPC G4、G5、Intel プロセッサー
RAM (メモリー)	1GB 以上
インターフェース	Hi-Speed USB
ディスプレイ	解像度：1024 × 768 以上 カラー：約 32,000 カラー以上

- Intel プロセッサー搭載の Macintosh で Mac OS 10.4 をお使いの方は、Mac OS 10.4.7 以降にアップデートしてください。

対応カメラ

下記のカメラで撮影した RAW 画像、JPEG 画像、MOV 動画に対応しています。

EOS-1Ds Mark III	EOS-1D Mark III
EOS 5D Mark II	EOS 50D
EOS 40D	EOS Kiss X2
EOS Kiss F	—

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

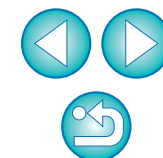
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引





やりたいこと目次

カメラからパソコンへの画像取り込み

- すべての画像を一括してパソコンに取り込みたい → p.6
- 選んだ画像だけをパソコンに取り込みたい → p.7
- 市販のカードリーダーを使って画像を取り込みたい → p.9

パソコンからのカメラ設定

- カメラの所有者名や著作権情報、日付／時刻を設定したい → p.11
- ピクチャースタイルを設定してカメラに適用したい → p.15
- ピクチャースタイルファイルをカメラに適用したい → p.18
- カスタムホワイトバランスをカメラに登録したい → p.19
- JPEG 記録画質を設定してカメラに適用したい → p.20
- ホワイトバランスを補正してカメラに適用したい → p.21
- レンズ周辺光量補正データをカメラに登録したい → p.21
- マイメニューを設定してカメラに適用したい → p.22

リモート撮影

- パソコンからカメラを制御して撮影したい (リモートライブビュー撮影) → p.25
- 正確な水平／垂直を出して撮影したい → p.35
- アスペクト比を変えて撮影したい → p.35
- カメラを操作して撮影したい → p.36
- 動画を撮影したい → p.37
- タイマー制御による自動撮影をしたい → p.38

別売アクセサリーとの連携機能

- ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E2、E3、E4 を使って撮影した画像をリアルタイムで確認したい → p.47
- WFT-E2、E3、E4 用ソフトウェアを EU から立ち上げたい → p.48

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

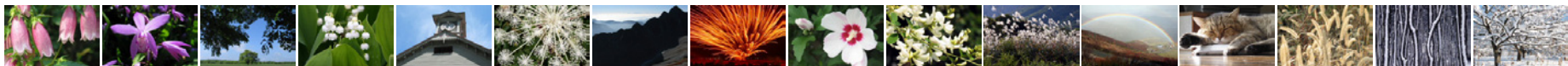
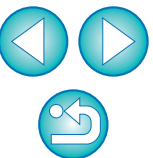
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



1 パソコンに画像を取り込む



パソコンに画像を取り込むための準備（カメラとパソコンの接続方法）、EUの立ち上げかた、カメラからパソコンへの画像の取り込みかた、EUの終了方法までの基本的な一連の操作方法を説明します。

カメラとパソコンを接続する	5
EUを立ち上げる	5
画像を一括してパソコンに取り込む	6
画像を選んでパソコンに取り込む	7
カードリーダーで画像を取り込む	9
Digital Photo Professional を使った画像取り込み	9
ImageBrowser を使った画像取り込み	9
キヤノン製ソフトウェアを使わない画像取り込み	9
EUを終了する	9

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

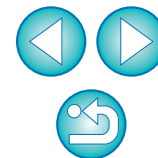
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

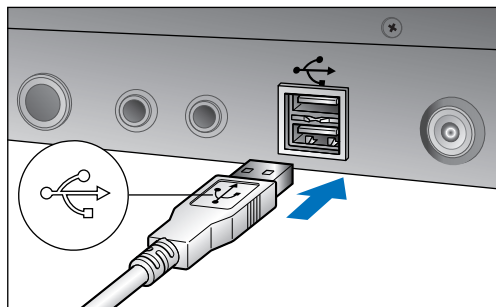
索引



カメラとパソコンを接続する

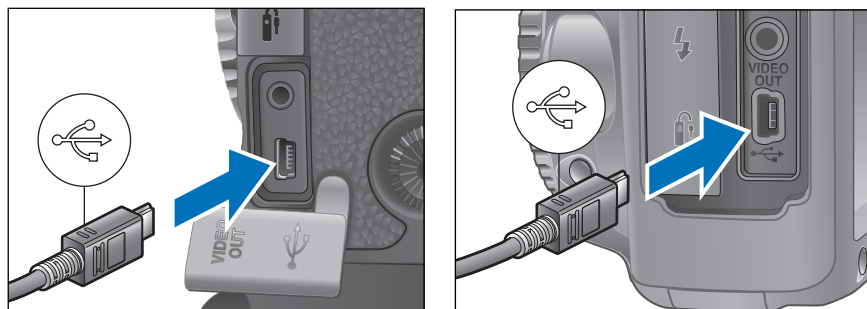
カメラで撮影した画像をパソコンに取り込むため、カメラに付属のインターフェースケーブルでカメラとパソコンを接続します。

1 ケーブルの大きい方のプラグを、パソコンの USB 接続部に差し込む



- USB 接続部の位置や向きについては、パソコンの使用説明書を参照してください。

2 ケーブルの小さい方のプラグを、カメラの <usb> 端子に差し込む

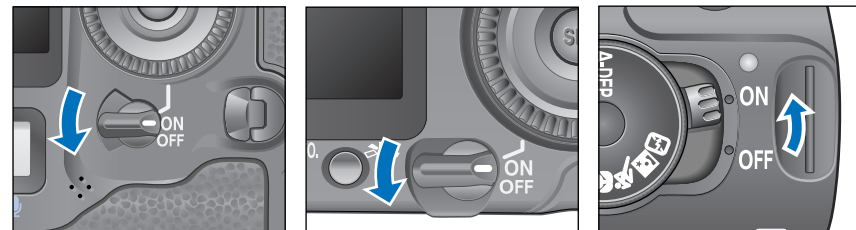


- プラグの <usb> マークをカメラの前面に向けて差し込みます。
- 画像を取り込む準備ができました。引き続き「EU を立ち上げる」へ進んでください。
- 1Ds Mk III 1D Mk III では、プラグ抜け防止用のケーブルプロテクターで、カメラとプラグを固定することができます。使いかたについては、p.50 を参照してください。

EU を立ち上げる

カメラの電源スイッチを〈ON〉にすると EU が立ち上がり、カメラとパソコンが通信できる状態になります。

カメラの電源スイッチを〈ON〉にする



EU メイン画面



- EU が立ち上がりメイン画面が表示されて、カメラとパソコンの通信が可能になりました。引き続き「画像を一括してパソコンに取り込む」へ進んでください。
- EU が立ち上がるとカメラの液晶モニターが点灯します。
- カメラを操作して、カメラ内のメモリーカードに保存されている画像を、パソコンに取り込むことができます。詳しくは、カメラの使用説明書を参照してください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

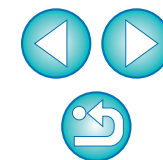
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引

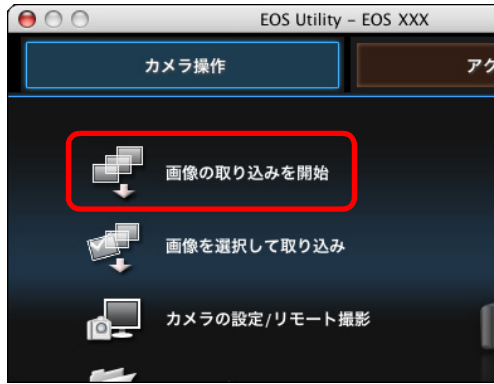


画像を一括してパソコンに取り込む

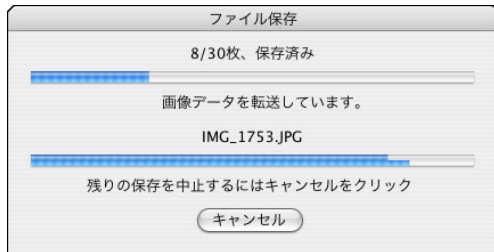
カメラ内のメモリーカードに保存されている画像の中で、まだ取り込んでいない画像を、一括してパソコンに取り込むことができます。

また、取り込んだ画像は撮影日ごとにフォルダに分類されて、連携して立ち上がる Digital Photo Professional (RAW 画像現像/閲覧/編集ソフトウェア) (以降 DPP) のメイン画面に表示され、すぐに確認することができます。

1 【画像の取り込みを開始】をクリックする



ファイル保存画面



- 【ファイル保存】画面が表示され、パソコンへの画像取り込みがはじまります。
- 取り込まれた画像は、パソコンの【ピクチャ】フォルダに保存されます。
- すべての画像が取り込まれると、DPP が自動的に立ち上がり、DPP のメイン画面に取り込んだ画像が表示されます。

2 取り込んだ画像を確認する

DPP メイン画面



- 取り込んだ画像を DPP で確認します。
DPP の使いかたについては、「Digital Photo Professional 使用説明書」(PDF 形式の電子マニュアル)を参照してください。
- 引き続き「EU を終了する」(p.9)へ進んでください。

- 画像を取り込んだときに連携して立ち上がるソフトウェアを、DPP から ImageBrowser や別のソフトウェアに変更することができます。(p.43)
- 取り込み対象となる画像や保存先を変更することができます。(p.42、p.43)
- 動画はファイルサイズが大きいため、取り込みに時間がかかります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

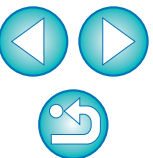
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



画像を選んでパソコンに取り込む

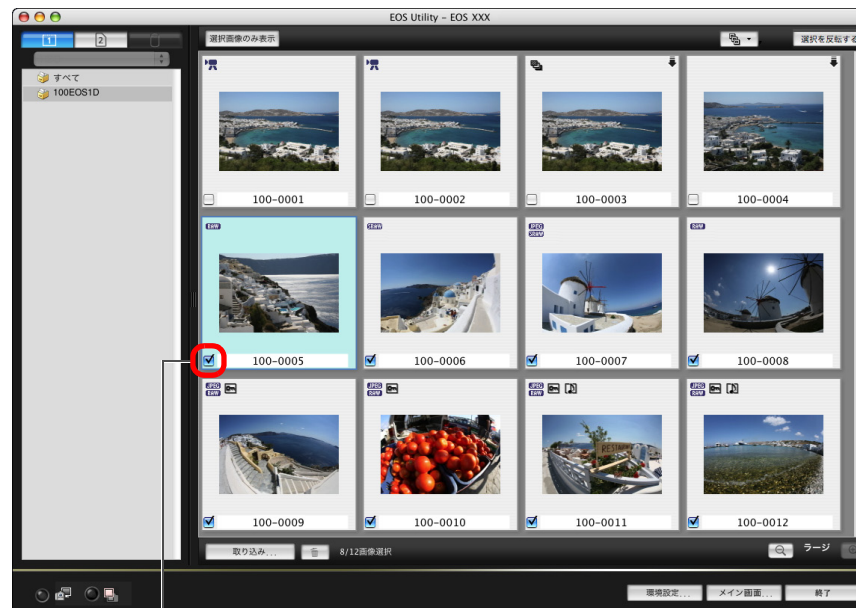
カメラ内のメモリーカードに保存されている画像を見て、必要な画像だけをパソコンに取り込むことができます。

1 【画像を選択して取り込み】をクリックする



→ビューワー画面が表示され、メモリーカード内の画像が表示されます。

2 画像を見て、取り込む画像をチェックする ビューワー画面



チェックする

3 【取り込み】ボタンを押す



→【画像の取り込み】画面が表示されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

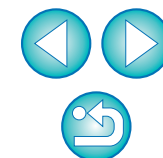
2
カメラ設定

3
リモート撮影

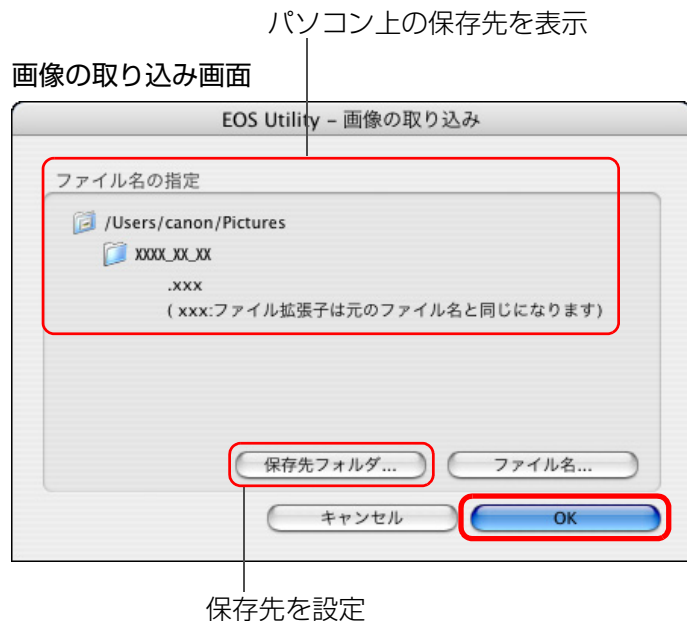
4
環境設定

資料

索引

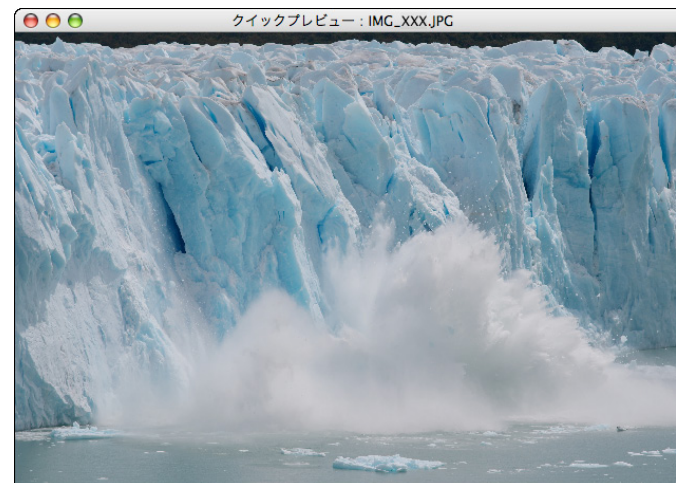


4 保存先を設定して【OK】ボタンを押す





→【ファイル保存】画面が表示され、パソコンへの画像取り込みがはじまります。

→パソコンに取り込まれた画像は、【クイックプレビュー】画面に表示されます。



- 【クイックプレビュー】画面では、取り込まれた画像を素早く確認することができます。なお、【クイックプレビュー】画面の表示サイズは変更することができます。
- すべての画像が取り込まれると、DPPが自動的に立ち上がり、取り込んだ画像が表示されます。
- メイン画面に切り換えるときは、ビューワー画面の【メイン画面】ボタンを押します。



- 手順2で連続した複数の画像を一括してチェックすることもできます。取り込みたい最初の画像をクリックしたあと、〈shift〉キーを押したまま最後の画像をクリックすると、が表示されます。ボタンを押すと、選んだ画像が一括してチェックされます。
- ビューワー画面の機能一覧は、[p.52](#)を参照してください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

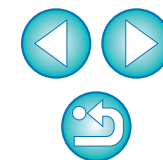
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



カードリーダーで画像を取り込む

市販のカードリーダーをお持ちの方は、カードリーダーを使って、メモリーカードに保存されている画像をパソコンに取り込むこともできます。ただし、EUはカードリーダーを使った画像取り込みには対応していません。そのため、カードリーダーを使った画像取り込みは、以下の3種類の方法で行ってください。

Digital Photo Professional を使った画像取り込み

DPPを使って、パソコンに接続された市販のカードリーダー内のメモリーカードから、撮影画像をパソコンに取り込むことができます。

詳しい使いかたは、「Digital Photo Professional 使用説明書」（PDF形式の電子マニュアル）の「カードリーダーで取り込む」を参照してください。

ImageBrowser を使った画像取り込み

ImageBrowserを使って、パソコンに接続された市販のカードリーダー内のメモリーカードから、撮影画像をパソコンに取り込むことができます。

詳しい使いかたは、「ImageBrowser 使用説明書」（PDF形式の電子マニュアル）の「カードリーダーで取り込む」を参照してください。

キヤノン製ソフトウェアを使わない画像取り込み

DPPやImageBrowserなどのキヤノン製ソフトウェアを使わずに、カードリーダーを使って撮影画像を取り込むときは、メモリーカード内の「DCIM」フォルダをパソコンにコピーしてください。

メモリーカード内の詳しいフォルダ構造とファイルについては、[p.49](#)を参照してください。

EUを終了する

1 [終了] ボタンを押す



→ 画面が閉じてEUが終了します。

2 カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする

3 カメラとパソコンからケーブルを抜く

● ケーブルを引っぱらずに、必ずプラグを持って抜いてください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

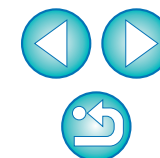
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



2 パソコンからカメラを設定する



カメラの各種機能を、EU から設定する方法について説明します。

カメラの所有者名や著作権情報、日付／時刻を設定する....	11
カメラ別の設定可能項目	12
カメラの機能を設定する.....	13
カメラ別の設定可能項目	14
ピクチャースタイルを設定してカメラに適用する	15
ピクチャースタイルを選んでカメラに適用する	15
ピクチャースタイルの設定値を変更してカメラに適用する....	16
自分好みにピクチャースタイルを設定してカメラに適用する....	17
ピクチャースタイルファイルをカメラに適用する	18
カスタムホワイトバランスをカメラに登録する	19
JPEG 記録画質を設定してカメラに適用する.....	20
ホワイトバランスを補正してカメラに適用する	21
レンズ周辺光量補正データをカメラに登録する	21
マイメニューを設定してカメラに登録する.....	22

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

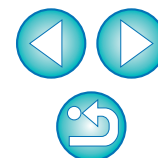
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引

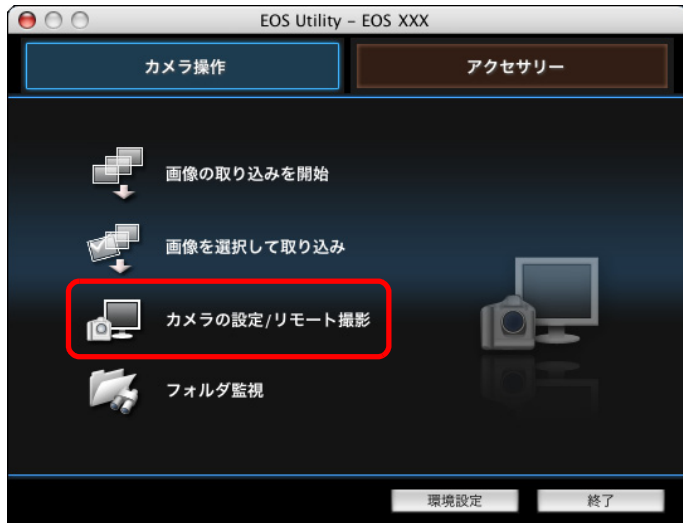


カメラの所有者名や著作権情報、日付／時刻を設定する

撮影した画像に撮影情報として書き込まれる、カメラの所有者名や著作権情報、日付／時刻などを設定して、カメラに適用することができます。

1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.5)

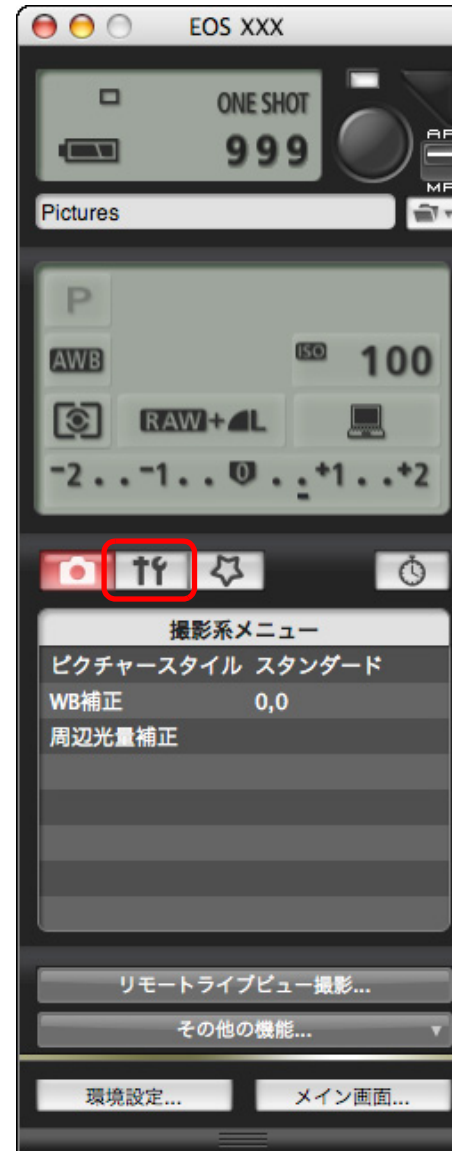
2 **【カメラの設定／リモート撮影】** をクリックする



→ キャプチャー画面が表示されます。

3 **【Tf】** ボタンを押す

キャプチャー画面



→ **【機能設定系メニュー】** が表示されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

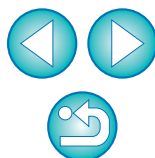
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

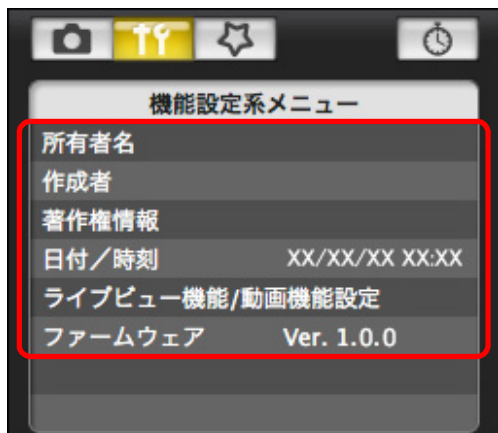
資料

索引



4 設定する項目をクリックして各内容を設定する

機能設定系メニュー



- 接続しているカメラで設定できる項目が表示されます。内容については、「カメラ別の設定可能項目」(下記)を参照してください。

キャプチャー画面の機能一覧は、p.55 を参照してください。

カメラ別の設定可能項目

設定項目	1Ds Mk III	5D Mk II	40D	Kiss X2
	1D Mk III	50D		Kiss F
所有者名	○	○	○	○
作成者	—	○	—	—
著作権情報	—	○	—	—
日付/時刻	○	○	○	○
ライブビュー機能設定/ 動画機能設定 *1	○	○	○	○
ファームウェア	○	○	○	○

所有者名

- カメラの所有者名を、半角英数字で最大 31 文字まで入力/設定することができます。

作成者 *2

- 作品の作成者を、接頭語を含め、半角英数字/記号で最大 63 文字まで入力/設定することができます。また、初期状態では接頭語に【Photographer:】が設定されますが、新しい接頭語に書き換えることもできます。

著作権情報 *2

- 著作権情報を、接頭語を含め、半角英数字/記号で最大 63 文字まで入力/設定することができます。また、初期状態では接頭語に【Copyright:】が設定されますが、新しい接頭語に書き換えることもできます。

日付/時刻

- カメラの日付/時刻を設定することができます。

ライブビュー機能設定/動画機能設定 *1

- ライブビュー撮影機能/動画機能設定 (p.25) を有効にするかどうかを設定することができます。

ファームウェア

- カメラのファームウェアのバージョンが表示されます。
- 本項目をクリックすることで、ファームウェアをアップデートすることができます。
- ファームウェアアップデートの詳細内容については、キヤノンホームページを参照してください。

*1 動画機能設定は 5D Mk II のみ

*2 設定されている作成者、著作権情報がすべて表示されていないときは、表示されている設定内容にカーソルを重ねると、すべての設定内容がポップアップ表示されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

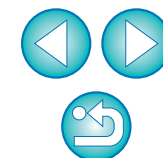
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



カメラの機能を設定する

ピクチャースタイル、カスタムホワイトバランス、JPEG画質、ホワイトバランス補正を設定して、カメラに適用することができます。

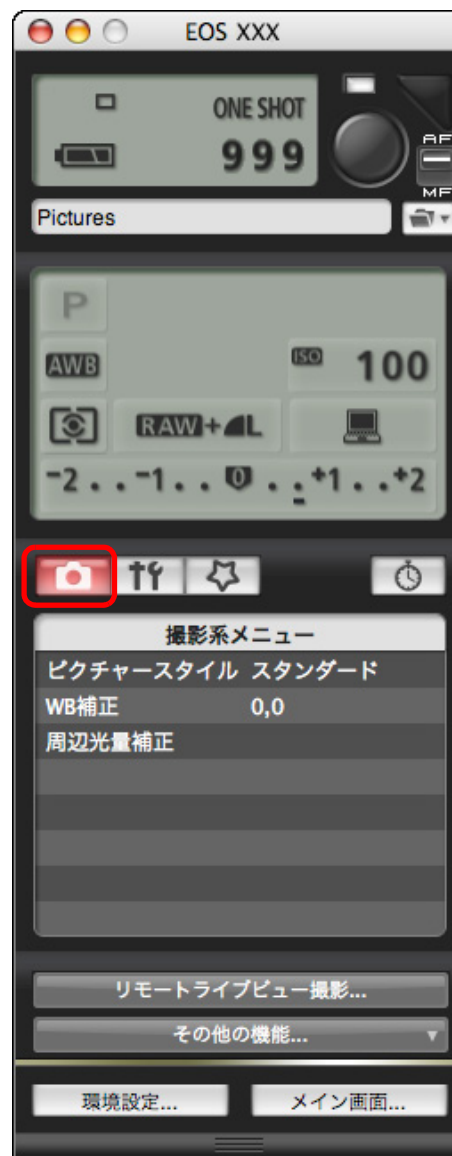
1 カメラとパソコンを接続して、EUを立ち上げる (p.5)

2 **【カメラの設定／リモート撮影】** をクリックする



→ キャプチャー画面が表示されます。

3 **【カメラ】** ボタンを押す



→ **【撮影系メニュー】** が表示されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

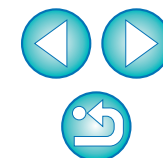
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

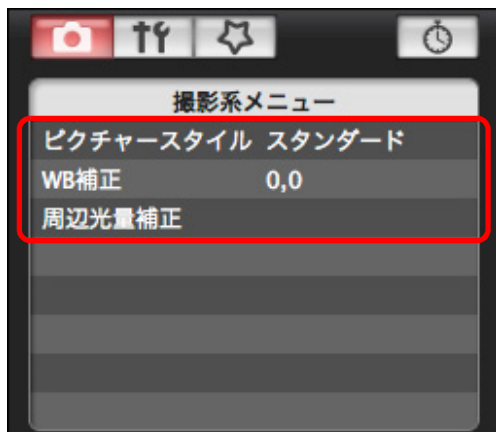
資料

索引



4 設定する項目をクリックして各内容を設定する

撮影系メニュー



- 接続しているカメラで設定できる項目が表示されます。内容については、「カメラ別の設定可能項目」(右記)を参照してください。

カメラ別の設定可能項目

設定項目	1Ds Mk III 1D Mk III	5D Mk II 50D	40D	Kiss X2 Kiss F
ピクチャースタイル	○	○	○	○
カスタムホワイトバランス	○	—	○	—
JPEG 画質	○	—	—	—
ホワイトバランス補正	○	○	○	○
周辺光量補正データの登録	—	○	—	—

ピクチャースタイル

- カメラでの操作と同じように、ピクチャースタイルを設定してカメラに適用することができます。(p.15)

カスタムホワイトバランス

- RAW Image Task で保存したカスタムホワイトバランスファイルをカメラに登録することができます。(p.19)

JPEG 画質

- カメラでの操作と同じように、JPEG 画像の記録画質を設定してカメラに適用することができます。(p.20)

ホワイトバランス補正

- カメラでの操作と同じように、ホワイトバランスを補正することができます。(p.21)

周辺光量補正データの登録

- レンズ周辺光量補正データをカメラに登録したり、カメラから削除することができます。(p.21)

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

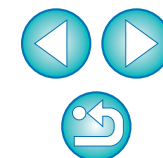
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



キャプチャー画面の機能一覧は、p.55 を参照してください。

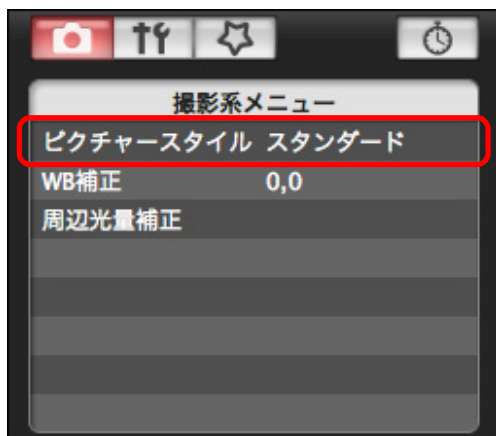
ピクチャースタイルを設定してカメラに適用する

カメラでの操作と同じように、ピクチャースタイルを設定してカメラに適用することができます。各ピクチャースタイルの【シャープネス】、【コントラスト】、【色の濃さ】、【色あい】の値を変更してカメラに設定したり、自分の好みに設定したピクチャースタイルをユーザー設定としてカメラに3つまで登録することができます。

また、キヤノンホームページからダウンロードしてパソコンに保存したピクチャースタイルファイルや、Picture Style Editor（ピクチャースタイルファイル作成用ソフトウェア）（以降 PSE）で作成してパソコンに保存したピクチャースタイルファイルを、ユーザー設定としてカメラに登録することもできます。

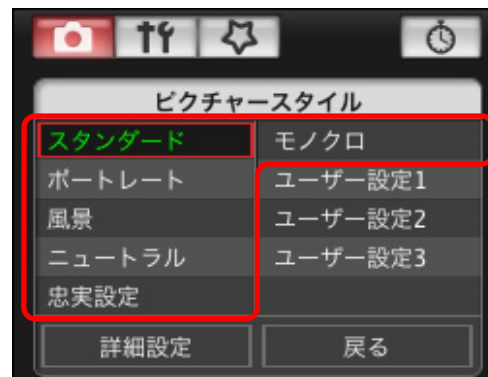
ピクチャースタイルを選んでカメラに適用する

1 【ピクチャースタイル】をクリックする



→ 【ピクチャースタイル】画面が表示されます。

2 カメラに設定するピクチャースタイルをクリックする ピクチャースタイル画面



→ 設定内容がカメラに適用され、【撮影系メニュー】に戻ります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

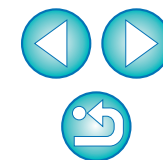
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



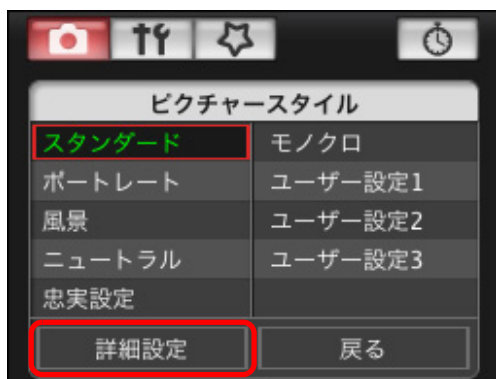
ピクチャースタイルの設定値を変更してカメラに適用する

カメラでの操作と同じように、各ピクチャースタイルの [シャープネス]、[コントラスト]、[色の濃さ]、[色あい] を自分好みに設定して、カメラに適用することができます。

1 【ピクチャースタイル】 をクリックする (p.15)

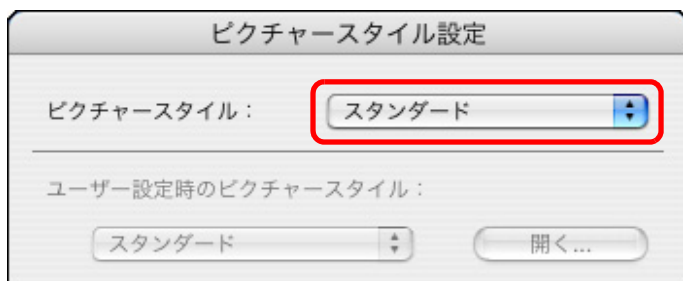
→ 【ピクチャースタイル】 画面が表示されます。

2 【詳細設定】 をクリックする



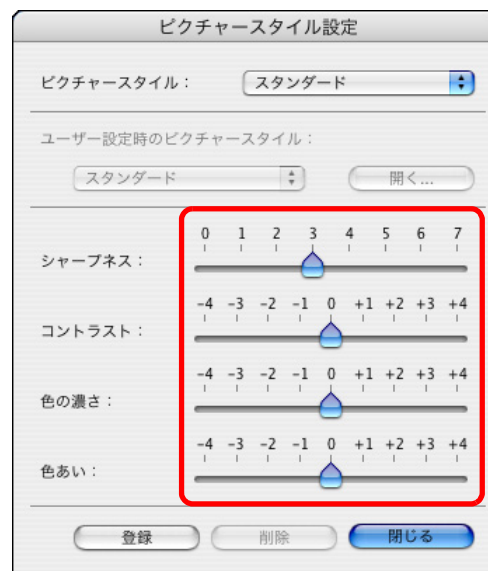
→ 【ピクチャースタイル設定】 画面が表示されます。

3 【ピクチャースタイル】 リストボックスからピクチャースタイルを選ぶ



→ 【モノクロ】 を選んだときは、【フィルター効果】、【調色】 のリストボックスが表示されます。

4 各項目のスライダーを左右にドラッグする



5 【登録】 ボタンを押す



→ 設定内容がカメラに登録されます。

6 【閉じる】 ボタンを押す

→ 【ピクチャースタイル設定】 画面が閉じます。

7 【ピクチャースタイル】 画面 (手順 2 の画面) で、設定値を変更したピクチャースタイルをクリックする

→ 設定内容がカメラに適用され、【撮影系メニュー】に戻ります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

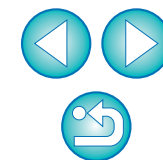
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



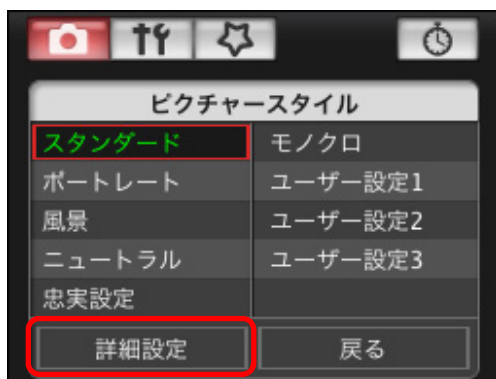
自分好みにピクチャースタイルを設定してカメラに適用する

カメラでの操作と同じように、ピクチャースタイルの項目と、[シャープネス]、[コントラスト]、[色の濃さ]、[色あい] の値を自分好みに設定して、ユーザー設定として3つまでカメラに登録することができます。

1 [ピクチャースタイル] をクリックする (p.15)

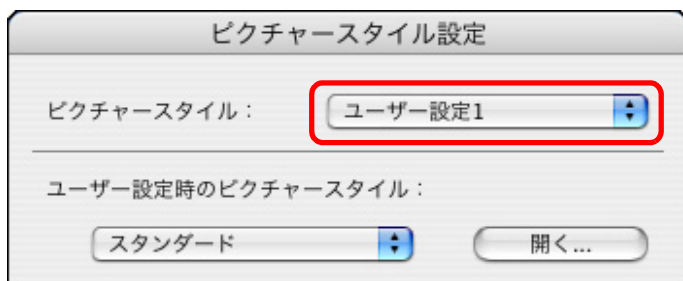
→ [ピクチャースタイル] 画面が表示されます。

2 [詳細設定] をクリックする

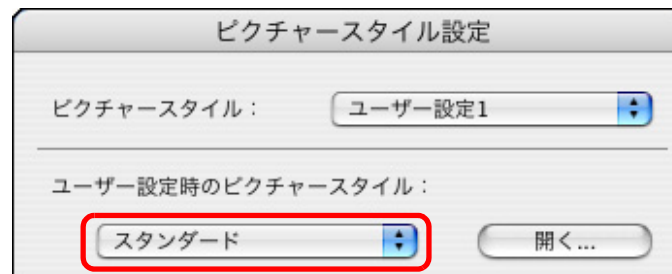


→ [ピクチャースタイル設定] 画面が表示されます。

3 [ピクチャースタイル] リストボックスから [ユーザー設定1] ~ [ユーザー設定3] のいずれかを選ぶ

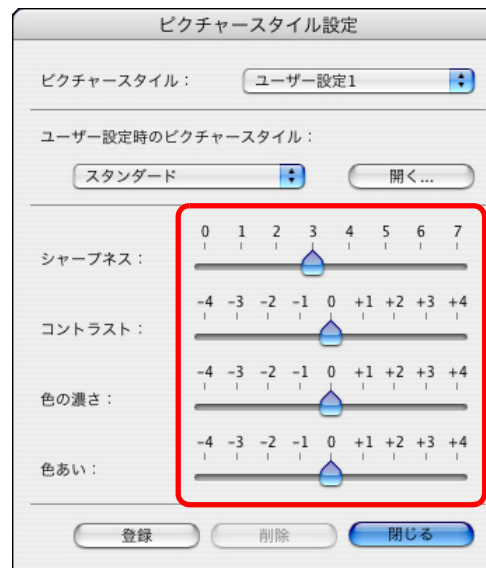


4 [ユーザー設定時のピクチャースタイル] リストボックスからピクチャースタイルを選ぶ



→ [モノクロ] を選んだときは、[フィルター効果]、[調色] のリストボックスが表示されます。

5 各項目のスライダーを左右にドラッグする



● 以降の操作は、p.16 の手順5～7と同じです。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

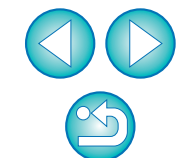
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



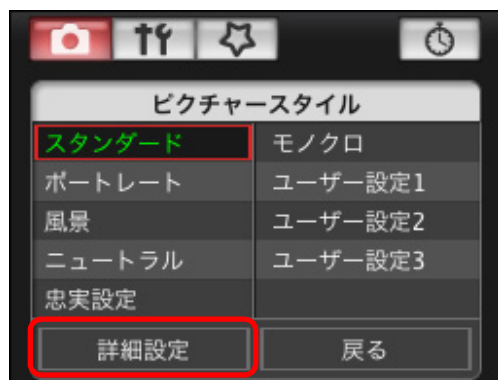
ピクチャースタイルファイルをカメラに適用する

キヤノンホームページからダウンロードしてパソコンに保存したピクチャースタイルファイルや、PSEで作成してパソコンに保存したピクチャースタイルファイルを、ユーザー設定として3つまでカメラに登録することができます。

1 【ピクチャースタイル】 をクリックする (p.15)

→ 【ピクチャースタイル】 画面が表示されます。

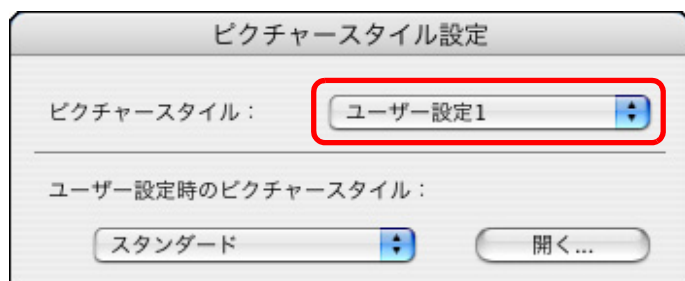
2 【詳細設定】 をクリックする



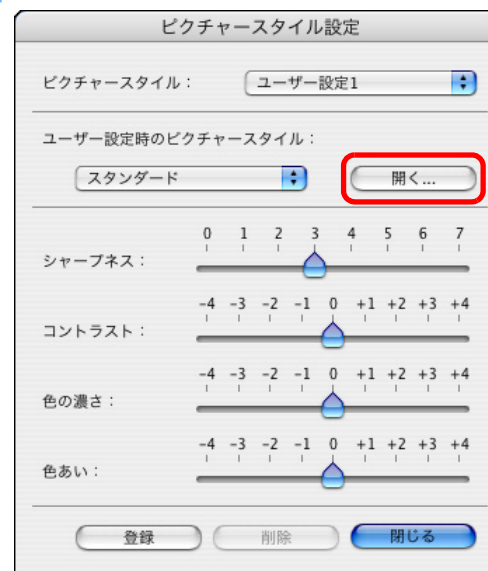
→ 【ピクチャースタイル設定】 画面が表示されます。

3 【ピクチャースタイル】 リストボックスから【ユーザー設定

1】～【ユーザー設定3】のいずれかを選ぶ

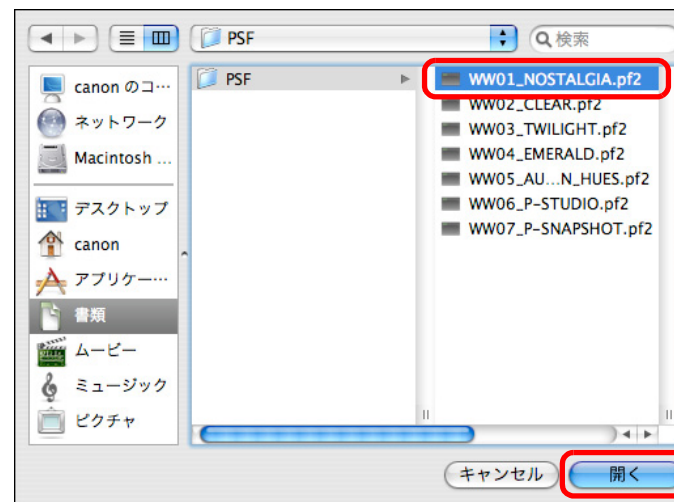


4 【開く】 ボタンを押す



→ ピクチャースタイルの読み込み画面が表示されます。

5 ピクチャースタイルファイルを選び、【開く】 ボタンを押す



→ ピクチャースタイルファイルが読み込まれます。

● 以降の操作は、p.16の手順5～7と同じです。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

2
カメラ設定

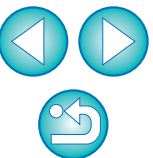
3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引





- ピクチャースタイルファイルとは、ピクチャースタイルの拡張機能ファイルです。ピクチャースタイルファイルの詳細内容については、キヤノンホームページを参照してください。
- カメラに適用できるピクチャースタイルファイルは、拡張子が「.PF2」のファイルだけです。
- PSE の使いかたについては、「Picture Style Editor 使用説明書」(PDF 形式の電子マニュアル) を参照してください。

カスタムホワイトバランスをカメラに登録する

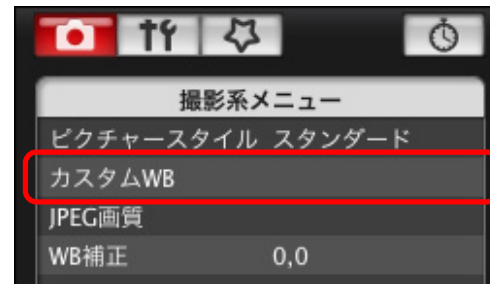


RAW 画像のホワイトバランスを調整して保存したホワイトバランスファイルを、カスタムホワイトバランスとしてカメラに登録することができます。

なお、ホワイトバランスの調整や保存は、ImageBrowser から RAW Image Task を立ち上げて行います。

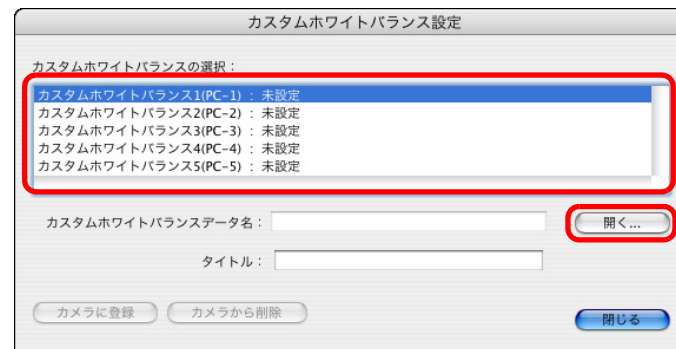
RAW Image Task については、「ImageBrowser 使用説明書」(PDF 形式の電子マニュアル) を参照してください。

1 【カスタム WB】 をクリックする



→ 【カスタムホワイトバランス設定】 画面が表示されます。

2 登録するカスタムホワイトバランスを選び、【開く】 ボタンを押す



→ ファイルを選ぶ画面が表示されます。

- 3 ホワイトバランスファイルが保存されている場所を開き、ファイルを選んで【開く】ボタンを押す
- ホワイトバランスファイルが読み込まれます。
 - カメラに登録できるホワイトバランスファイルは、拡張子が「.WBD」のファイルです。

- 4 【タイトル】入力欄にタイトルを入力する
- 40D では入力することができません。

- 5 【カメラに登録】ボタンを押す
- カスタムホワイトバランスがカメラに登録されます。
 - 40D ではマニュアルホワイトバランスとして登録されます。
 - 引き続き登録するときは、手順2～5の操作を繰り返してください。

- 6 【閉じる】ボタンを押す
- 【カスタムホワイトバランス設定】画面が閉じ、【撮影系メニュー】に戻ります。

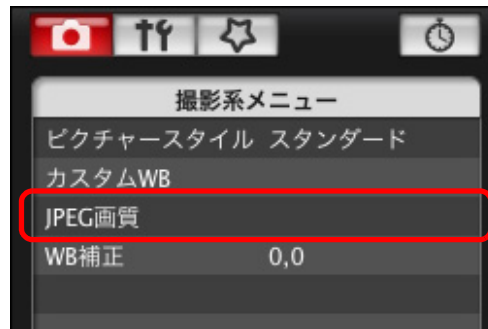
- 7 登録したカスタムホワイトバランスをカメラで選ぶ
- 登録したカスタムホワイトバランス（1Ds Mk III 1D Mk III）、またはマニュアルホワイトバランス（40D）をホワイトバランスとして選びます。
 - カスタムホワイトバランス、またはマニュアルホワイトバランスの選びかたについては、付属のカメラ使用説明書「ホワイトバランスの選択」（1Ds Mk III 1D Mk III）、または「ホワイトバランスの設定」（40D）を参照してください。

JPEG 記録画質を設定してカメラに適用する



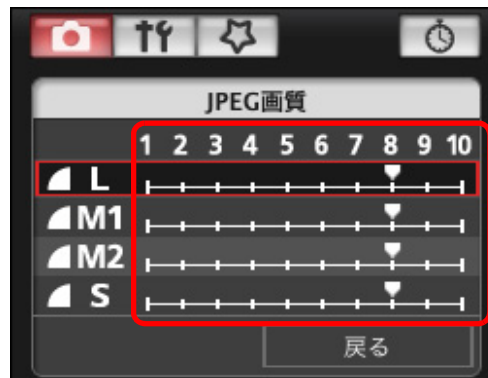
カメラでの操作と同じように、JPEG 画像の記録画質を設定して、カメラに適用することができます。

- 1 【JPEG 画質】をクリックする



→ 【JPEG 画質】画面が表示されます。

- 2 設定位置をクリックする



- 設定内容がカメラに適用されます。
- 各サイズとも、数値が大きくなるほど圧縮率が低く、高画質になります。

- 3 【戻る】をクリックする

→ 【撮影系メニュー】に戻ります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

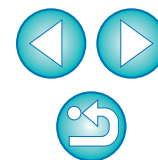
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

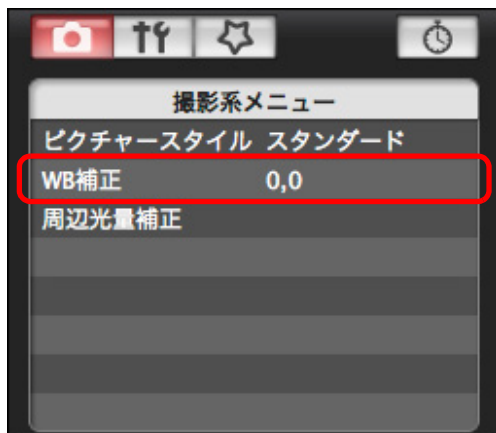
索引



ホワイトバランスを補正してカメラに適用する

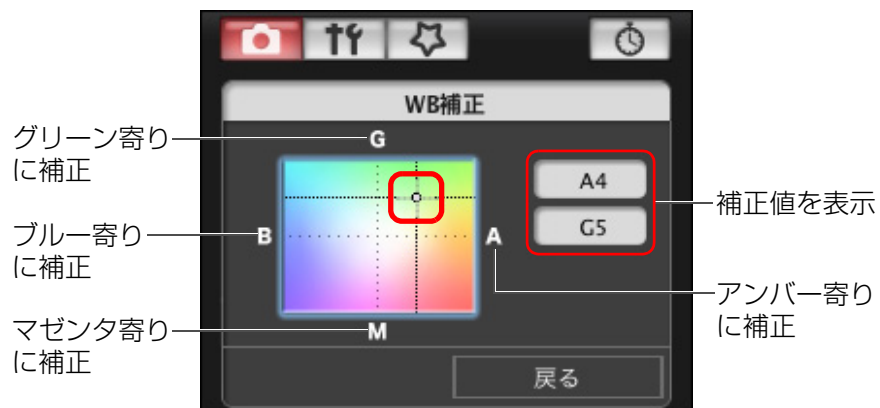
カメラでの操作と同じように、ホワイトバランスを補正することができます。

1 【WB 補正】 をクリックする



→ 【WB 補正】 画面が表示されます。

2 補正位置をクリックする



→ 設定内容がカメラに適用されます。

3 【戻る】 をクリックする

→ 【撮影系メニュー】 に戻ります。

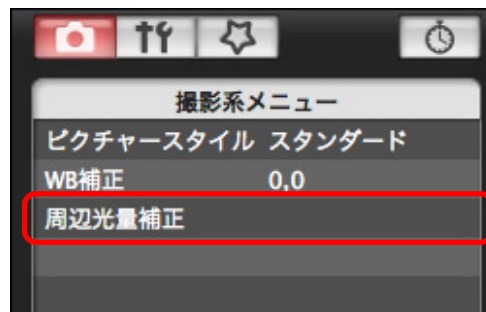
● 補正値を元の値に戻すときは、手順 2 の操作で戻します。

レンズ周辺光量補正データをカメラに登録する



レンズ周辺光量補正データをカメラに登録したり、カメラから削除することができます。

1 【周辺光量補正】 をクリックする



→ 【周辺光量補正データの登録】 画面が表示され、カメラに補正データが登録されているレンズにチェックが入ります。

2 補正データを登録したいレンズの 카테고리 を選ぶ



→ 選んだカテゴリのレンズのみ一覧表示されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

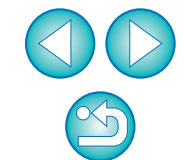
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



3 補正データを登録したいレンズを選び、【OK】ボタンを押す



→ 選んだレンズの補正データがカメラに登録されます。

マイメニューを設定してカメラに登録する

カメラでの操作と同じように、よく使うメニュー項目を、6項目までマイメニューとしてカメラに登録することができます。

なお、登録できる項目は、各タブの第一階層の項目とカスタム機能の全項目です。

1 カメラとパソコンを接続して、EUを立ち上げる (p.5)

2 【カメラの設定／リモート撮影】をクリックする



→ キャプチャー画面が表示されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

2
カメラ設定

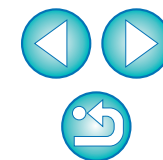
3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引

【周辺光量補正データの登録】画面の機能一覧は、p.53を参照してください。



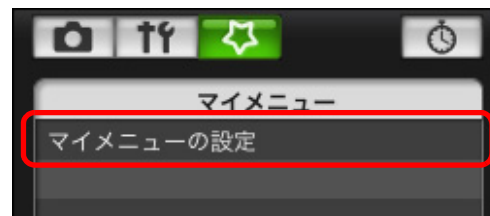
3 【☆】 ボタンを押す



→ 【マイメニュー】が表示されます。

4 【マイメニューの設定】をクリックする

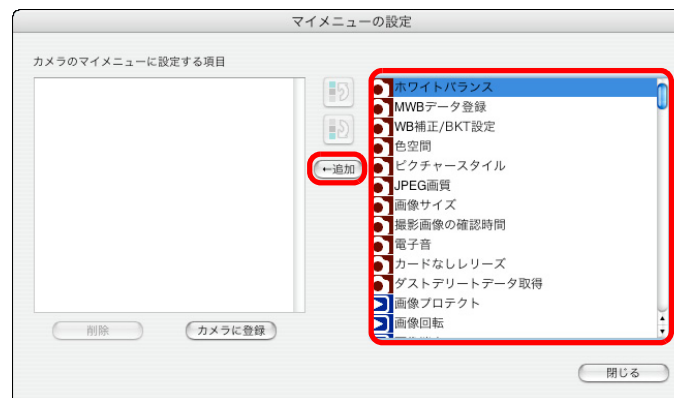
マイメニュー



→ 【マイメニューの設定】画面が表示されます。

5 登録する項目を選び、【追加】ボタンを押す

マイメニューの設定画面



→ 選んだ項目が、画面左側の【カメラのマイメニューに設定する項目】に追加されます。

● 上記の操作で6項目まで登録することができます。

● 項目を選んで【⇄】ボタンまたは【⇄】ボタンを押すと、選んだ項目が移動して並び順が変わります。

6 【カメラに登録】ボタンを押す

→ 設定内容がカメラに適用されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

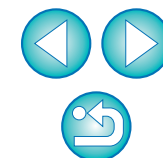
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



マイメニューの設定画面の機能一覧は、p.54を参照してください。

3 パソコンからカメラを制御するリモート撮影



EU からカメラをリモートコントロールして、EU の画面上で被写体を見ながらカメラを設定し、撮影することができます。また、リモート撮影状態でのカメラ操作による撮影や、設定した時間でカメラが自動撮影するタイマー撮影を行うこともできます。

リモートライブビュー撮影.....	25
リモートライブビュー画面の機能.....	28
手動ピント合わせ.....	28
AF によるピント合わせ.....	30
クイックモードによるピント合わせ.....	30
ライブモードによるピント合わせ.....	31
ライブ顔優先モードによるピント合わせ.....	32
被写界深度と露出の確認.....	32
リモートライブビュー画面のホワイトバランス.....	33
ストロボ撮影時のホワイトバランス.....	33
カメラの水平／垂直を出す.....	35
アスペクト比を変える.....	35
カメラ操作による撮影.....	36
動画の撮影.....	37
タイマー制御による自動撮影.....	38
タイマー撮影.....	38
インターバルタイマー撮影.....	38
バルブ撮影.....	39

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

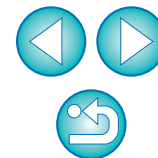
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



リモートライブビュー撮影

EU からカメラをリモートコントロールして、パソコンの画面上で撮影することができます。

また、撮影した画像はそのままパソコンに保存され、連携する Digital Photo Professional (以降 DPP) で、再度確認することもできます。

一定の構図で大量の撮影を行う、スタジオ撮影などに有効な機能です。

1 カメラとパソコンを接続して、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

→ EU が立ち上がります。

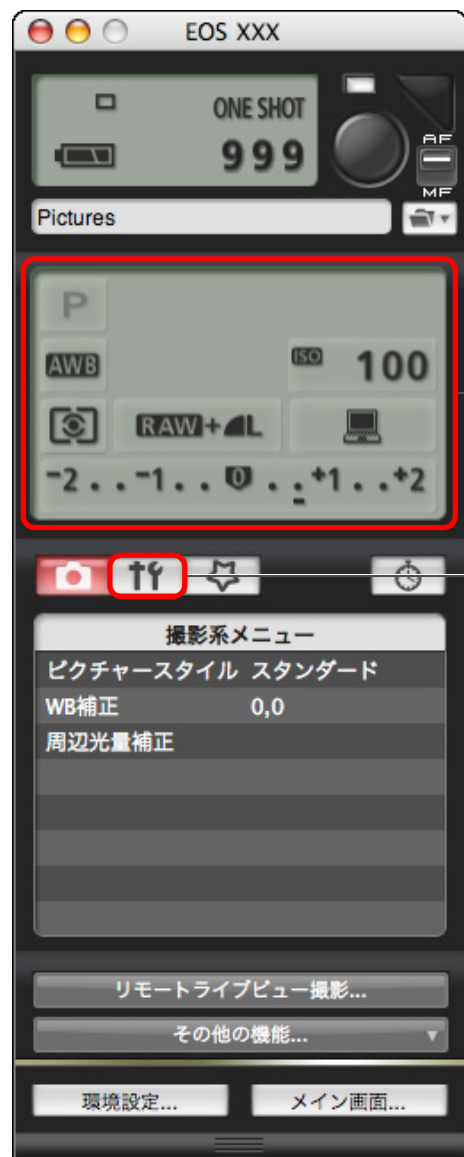
- カメラのファインダーをのぞいて、構図を決めてからピントを合わせます。

2 【カメラの設定／リモート撮影】をクリックする



→ キャプチャー画面が表示されます。

3 カメラを設定し、【Tf】ボタンを押す



設定項目をダブルクリックして設定内容を選ぶ

クリック

- 【撮影系メニュー】(p.13) の機能も併用することができます。
 - キャプチャー画面で設定できない機能(ドライブモードなど)は、カメラを操作して設定してください。
- 【機能設定系メニュー】が表示されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

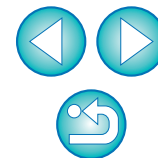
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

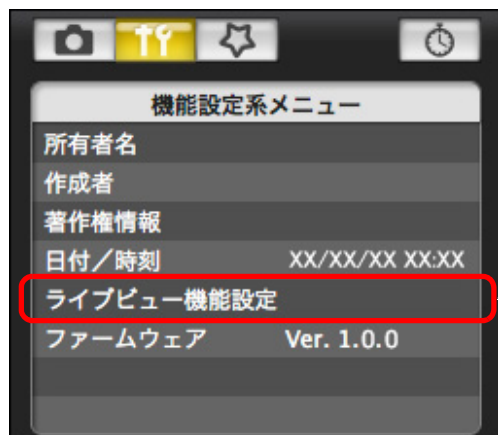
資料

索引



4 ライブビュー機能を設定する

- [ライブビュー機能設定] をクリックし、表示される [ライブビュー撮影] 画面で、[する] をクリックします。



クリック

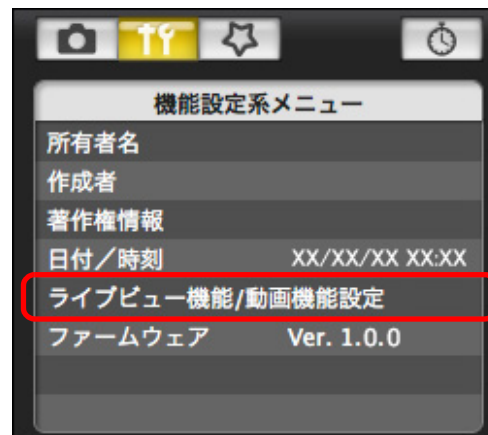


ライブビュー撮影画面



クリック

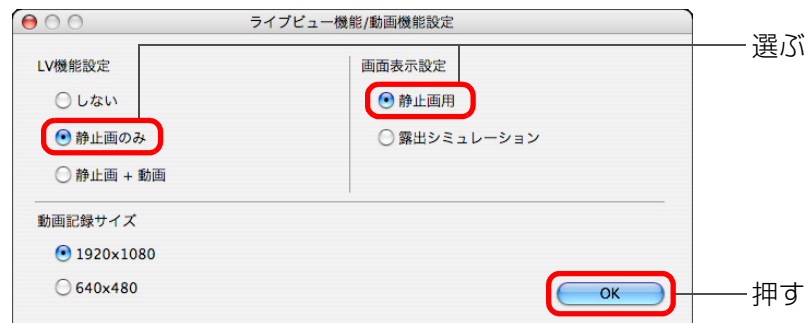
- [5D Mk II] では、[ライブビュー機能/動画機能設定] をクリックし、表示される [ライブビュー機能/動画機能設定] 画面で、[静止画のみ]、[静止画用] を選び、[OK] ボタンを押します。



クリック



ライブビュー機能/動画機能設定画面



選ぶ

押す

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

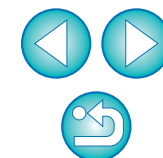
2
カメラ設定

3
リモート撮影

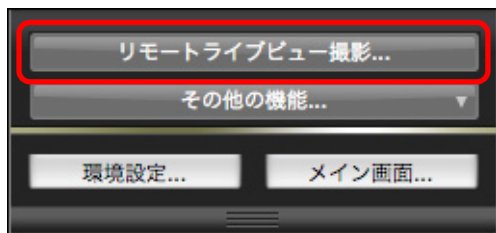
4
環境設定

資料

索引



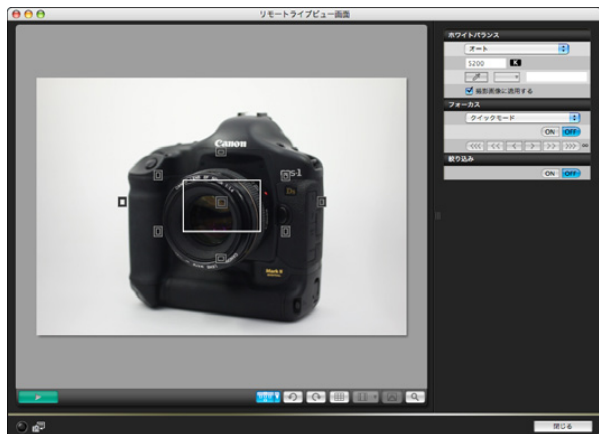
5 【リモートライブビュー撮影】 ボタンを押す



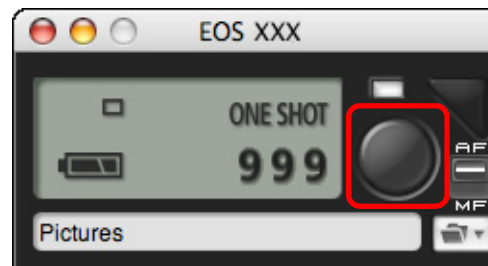
→ 【リモートライブビュー画面】が表示されます。



リモートライブビュー画面



6 【●】 ボタンを押して撮影する



→ 撮影した画像がパソコンに転送されて、【クイックレビュー】画面に表示され、そのあと DPP が自動的に立ち上がります。

- DPP が立ち上がる前に表示される【クイックレビュー】画面では、撮影した画像を素早く確認することができます。なお、【クイックレビュー】画面の表示サイズは変更することができます。
- キャプチャー画面の【その他の機能】ボタンを押して、表示されるメニューから【クイックレビュー】を選ぶと、【クイックレビュー】画面を表示/非表示にすることができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

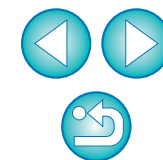
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引





- **【リモートライブビュー画面】**が表示されているときは、カメラ側の操作はできません。カメラの〈SET〉ボタン（**5D Mk II** **50D** は、ライブビュー撮影ボタン）を押すことで、カメラの液晶モニターにもライブビュー画像が表示され、カメラの操作をすることができるようになります。
- **【リモートライブビュー画面】**を表示させなくても、キャプチャー画面を操作することで撮影できます。
- **【リモートライブビュー画面】**で露出シミュレーション（p.32）を行うときや、ヒストグラムの表示（p.56）を有効にするときは、カメラのカスタム機能の**【ライブビュー露出シミュレーション】**を**【する】**に設定してください。また、**5D Mk II** **50D** では、メニューの**【露出 Simulation】**を**【する】**に設定してください。
- **5D Mk II** **50D** では、リモート撮影でもミラーアップ撮影を行うことができます。（ミラーアップ撮影に設定してテスト撮影を行うことはできません）
- パソコンとメモリーカードの両方に撮影画像を保存することができます。（p.43）
- リモート撮影した画像がパソコンに転送されると自動的に立ち上がるソフトウェアを、DPP から ImageBrowser や別のソフトウェアに変更することができます。（p.43）
- リモートライブビュー画面の機能一覧は、p.56 を参照してください。
- 拡大表示画面の機能一覧は、p.57 を参照してください。

リモートライブビュー画面の機能

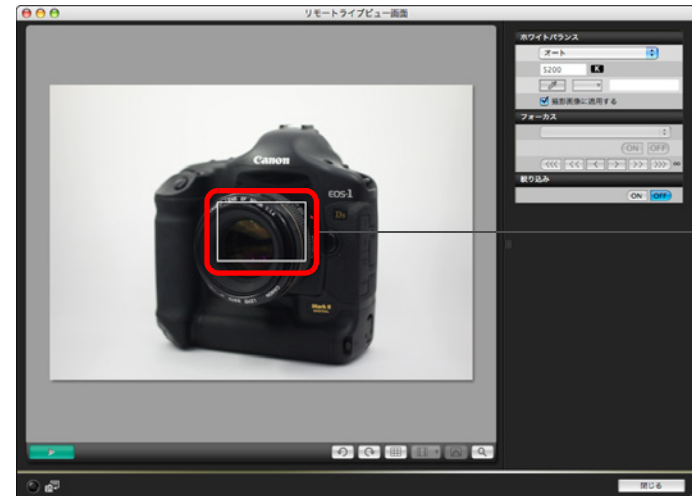
パソコンの画面上で被写体を見ながらピントを合わせたり、カメラの設定内容確認など、リモートライブビュー画面の各種機能について説明します。

手動ピント合わせ

リモートライブビュー画面で拡大した画像を見ながら、手動でピント合わせを行うことができます。

1 レンズのフォーカスモードスイッチを〈AF〉にする

2 拡大したい箇所に【□】をドラッグする



はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

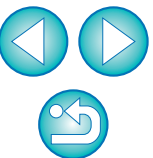
2
カメラ設定

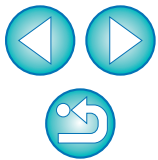
3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引





3 【】 ボタンを押す







→手順 1 で選んだ箇所が、**【拡大表示】** 画面に 100%（ピクセル等倍）で拡大表示されます。









拡大表示画面




- **【拡大表示】** 画面で表示位置を移動するときは、**【】**、**【】**、**【】**、**【】** のいずれかを押します。
- **【拡大表示画面を継続表示する】** をチェックすると、**【拡大表示】** 画面を継続して表示させることができます。
- 手順 1 で拡大したい箇所をダブルクリックして、**【拡大表示】** 画面に 100%（ピクセル等倍）で拡大表示させることもできます。
- **【拡大表示】** 画面で画像をダブルクリックすると、**【リモートライブビュー画面】** に戻ります。
- **【200%】** をチェックすると、200%で拡大表示させることができます。

4 ピントを合わせる



- **【】**、**【】**：調整量 大
- **【】**、**【】**：調整量 中
- **【】**、**【】**：調整量 小

→調整したピント位置に応じて、**【リモートライブビュー画面】** もリアルタイムで変わります。

 キーボードのキー操作でピントを合わせることもできます。

調整量	近くに	遠くに
大	<I>	<O>
中	<K>	<L>
小	<<>	>><

AFによるピント合わせ

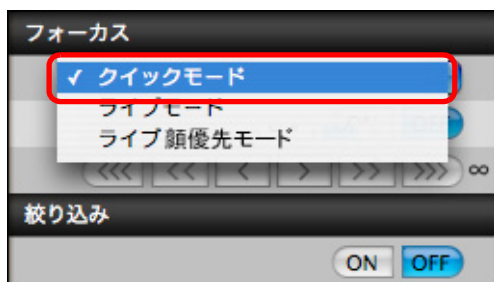


カメラでの操作と同じように、クイックモード、ライブモード、ライブ顔優先モードの各 AF モードで、自動的にピント合わせを行うことができます。

クイックモードによるピント合わせ



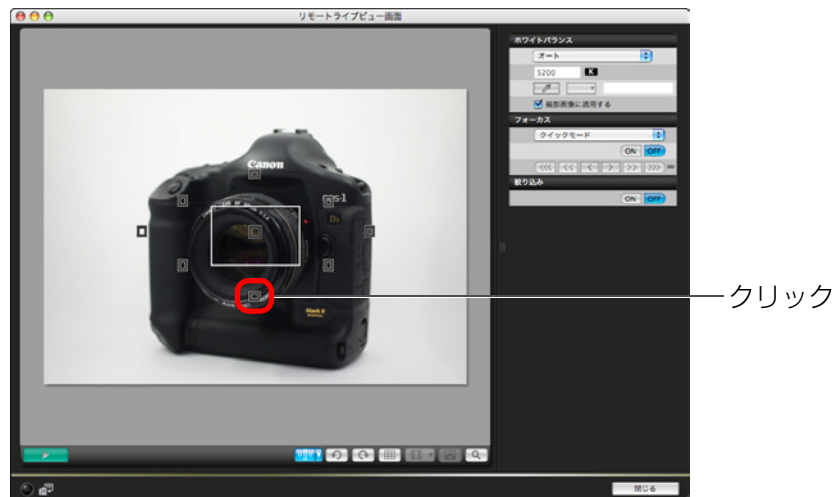
1 リストボックスから【クイックモード】を選ぶ



→ AF フレームが表示されます。

- [] ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 ピントを合わせたい位置にある AF フレームをクリックする



- [] の [] をクリックすると、AF フレームの任意選択と自動選択を切り換えることができます。
- 自動選択では、すべての AF フレームが自動的に選ばれた状態になります。

3 [ON] ボタンを押す



- AF が行われます。
- ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが赤色に変わります。

- AF フレームをダブルクリックしても、AF が行われます。
- AF 動作を中止するときは、[OFF] ボタンを押します。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

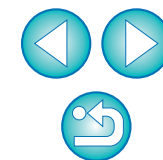
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

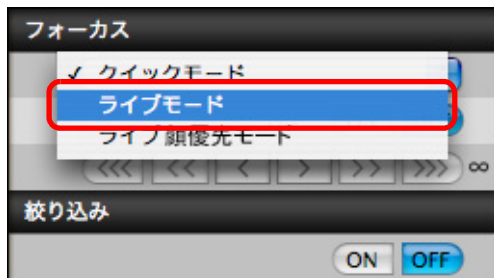
索引



ライブモードによるピント合わせ

5D Mk II 50D

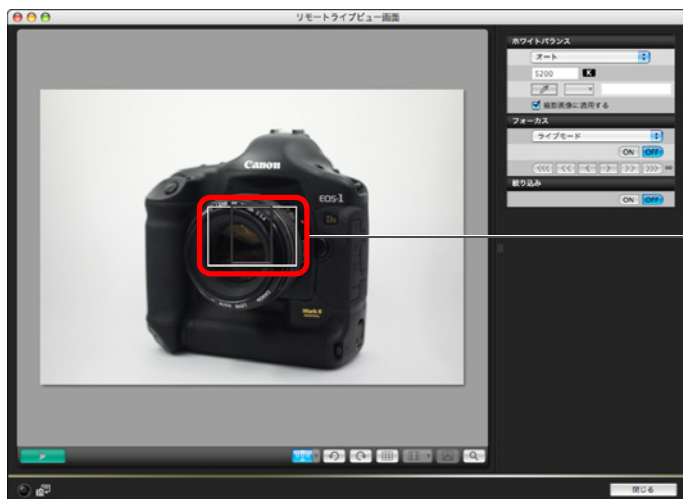
1 リストボックスから【ライブモード】を選ぶ



→ AF フレームが表示されます。

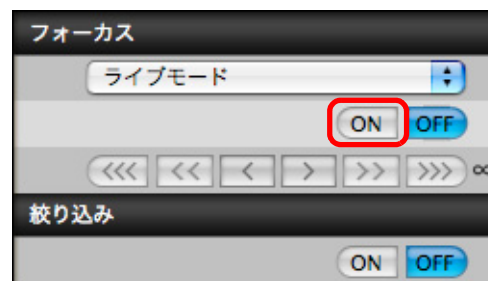
- [] ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 拡大表示枠をドラッグして、ピントを合わせたい位置に動かす



ドラッグ

3 【ON】 ボタンを押す



- AF が行われます。
- ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが緑色に変わります。
- ピントが合わないときは、AF フレームが赤色に変わります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

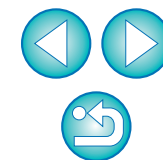
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

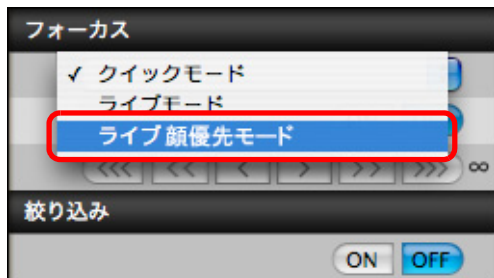
索引




ライブ顔優先モードによるピント合わせ

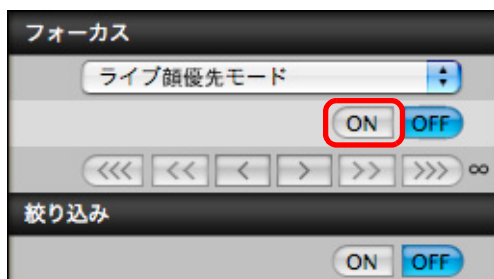
5D Mk II 50D

1 リストボックスから【ライブ顔優先モード】を選ぶ



- 顔を検知すると、AF フレームが表示されます。
- カメラが検知している顔が他にもあるときは、その顔の位置にカーソルを重ねると、新しい AF フレームが表示されます。その位置でクリックすると、その AF フレームが選ばれます。
- [] ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 【ON】 ボタンを押す

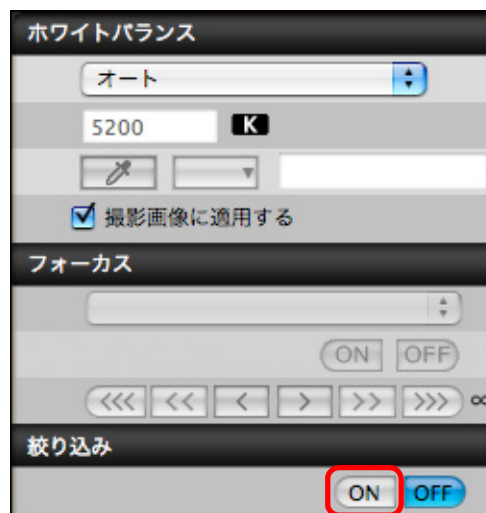


- AF が行われます。
- ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが緑色に変わります。
- ピントが合わないときは、AF フレームが赤色に変わります。
- 顔を検知できないときは、AF フレームを中央に固定してピント合わせが行われます。

被写界深度と露出の確認

リモートライブビュー画面上で、被写界深度と露出を確認することができます。

【ON】 ボタンを押す



- キャプチャー画面 (p.55) の設定値で絞り込み（露出シミュレーション）が行われます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

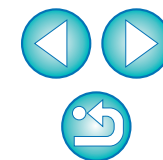
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



リモートライブビュー画面のホワイトバランス

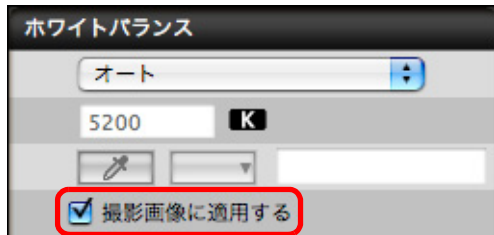
リモートライブビュー画面に表示された画像のホワイトバランスを変更し、カメラに登録することができます。

1 画像に適用するホワイトバランスを選ぶ



→ 選んだホワイトバランスがリアルタイムで表示される画像に適用され、【リモートライブビュー画面】で確認することができます。

2 【撮影画像に適用する】をチェックする



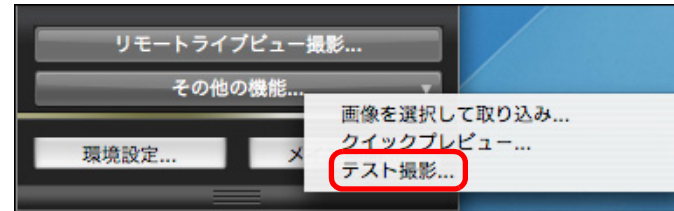
→ 選んだホワイトバランスがカスタムホワイトバランスとしてカメラに登録され、撮影する画像に適用されます。

ストロボ撮影時のホワイトバランス

ストロボ撮影など、瞬間的に光をあてる撮影を行うときは、本撮影と同じ条件でテスト撮影を行い、撮影したテスト画像をもとに、【テスト撮影】画面でホワイトバランスを調整することができます。

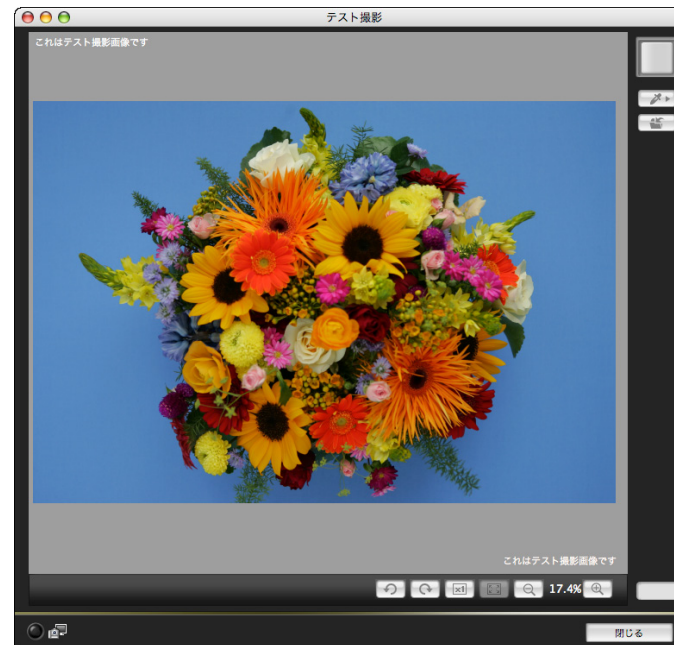
なお、ストロボを使わないときにも、テスト撮影を行うことができます。

1 【その他の機能】 ボタンを押して、表示されるメニューから【テスト撮影】を選ぶ



→ 撮影した画像が【テスト撮影】画面に表示されます。

テスト撮影画面



はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

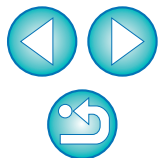
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

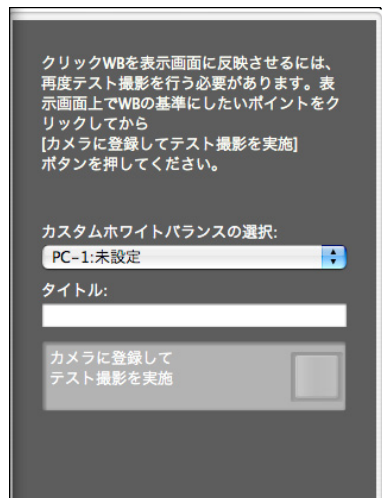
索引



2 【】 ボタンを押す

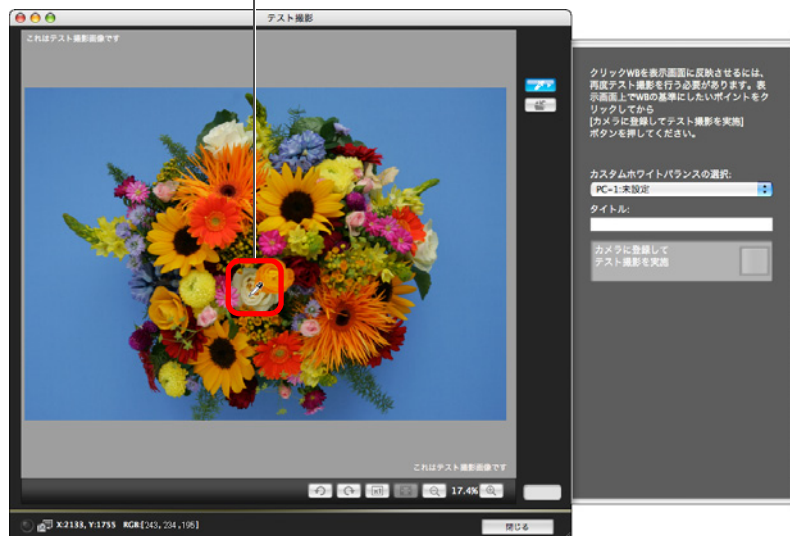
→ クリックホワイトバランス画面が表示されます。

クリックホワイトバランス画面

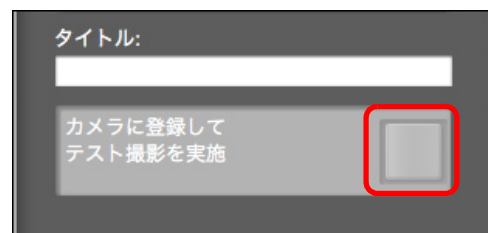


3 白の基準とする箇所をクリックする


クリック



4 【カメラに登録してテスト撮影を実施】 ボタンを押す



→ 手順3でクリックした箇所を白の基準として再度撮影が行われ、撮影した画像が【テスト撮影】画面に表示されます。

- テスト画像は保存されません。テスト画像を保存したいときは、【】 ボタンを押します。
- 【テスト撮影】画面を閉じるときは、【閉じる】ボタンを押します。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

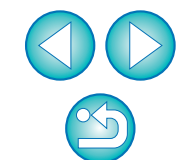
2
カメラ設定


3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



 【テスト撮影】画面の機能一覧は p.58 を参照してください。

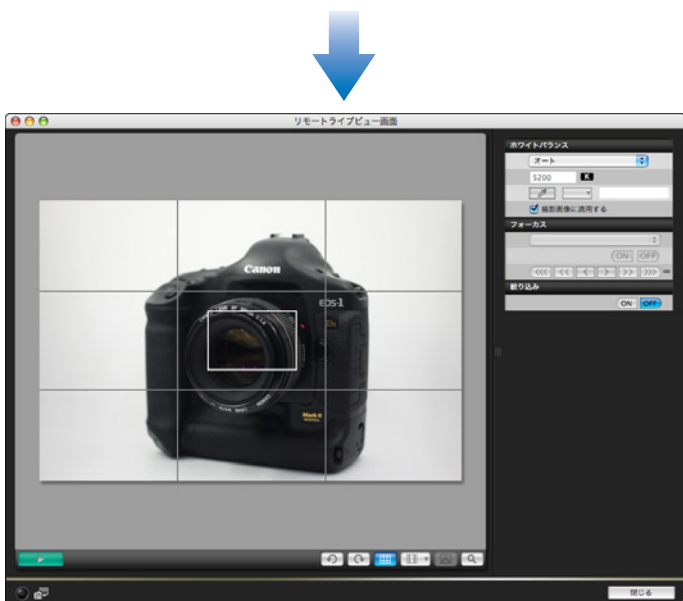
カメラの水平／垂直を出す

カメラのライブビュー機能と同じように、【リモートライブビュー画面】にグリッド線を表示して、カメラの水平／垂直を出すことができます。


1 【】 ボタンを押す



→ 【リモートライブビュー画面】 上に、グリッド線が表示されます。



2 カメラを動かして、水平／垂直を出す

● グリッド線を消すときは、再度【】 ボタンを押します。

アスペクト比を変える



カメラのライブビュー機能と同じように、6 × 6cm、6 × 4.5cm、4 × 5inch など、フィルム式の中判／大判カメラと同じような感覚で撮影することができます。

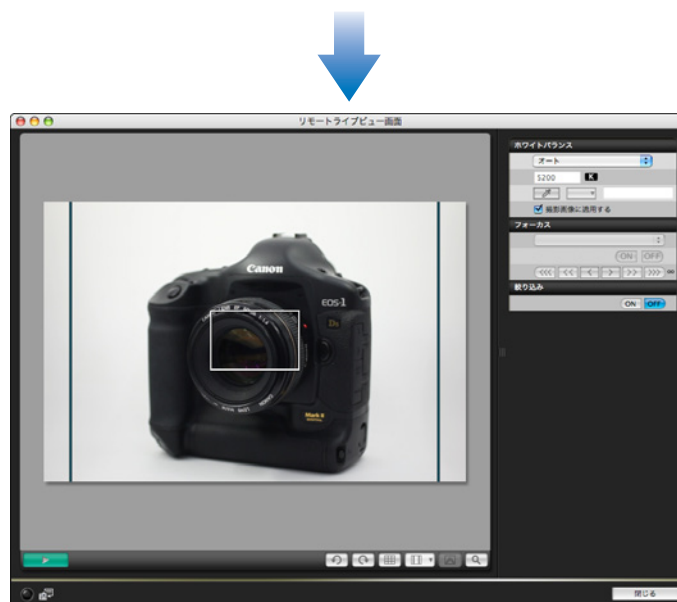
また、撮影した画像にはアスペクト比情報が自動的に付加され、この画像を DPP で見ると、アスペクト比情報に基づいたトリミング画像として表示されます。

なお、撮影した画像にはアスペクト比情報が付加されるだけで、実際の画像自体はトリミングされません。

1 【】 ボタンを押して、アスペクト比を選ぶ



→ 【リモートライブビュー画面】 上に、選んだアスペクト比の縦線が表示されます。



はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

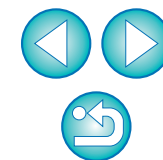
2
カメラ設定

3
リモート撮影


4
環境設定

資料

索引



2 カメラを動かして構図を決める

- アスペクト比を通常状態に戻すときは、 ボタンを押して【しない】を選びます。

カメラ操作による撮影

リモート撮影の状態でも、カメラ単独での撮影と同じように、カメラを操作して撮影することができます。また、撮影画像はパソコンのハードディスクに保存されるため、メモリーカードの容量を気にせず、大量の撮影を行うことができます。

1 キャプチャー画面を表示する (p.25)

2 カメラのシャッターボタンを押して撮影する

- 撮影した画像がパソコンに転送されて DPP が自動的に立ち上がり、撮影した画像が表示されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み




2
カメラ設定

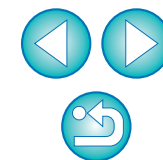
3
リモート撮影

4
環境設定


資料

索引

 【リモートライブビュー画面】が表示されているときは、カメラの〈SET〉ボタン (  は、ライブビュー撮影ボタン) を押してカメラの液晶モニターにライブビュー画像を表示させてから、カメラを操作してください。



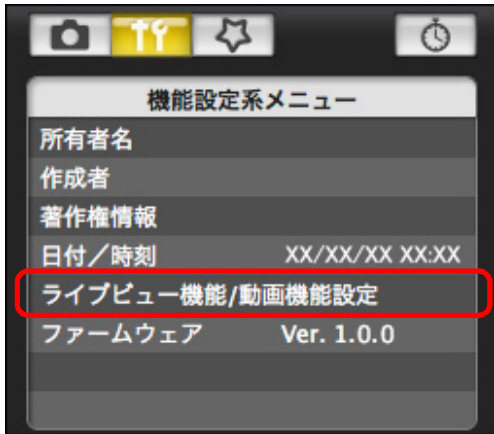
動画の撮影

 5D Mk II
EUからカメラをコントロールして、パソコンの画面上で動画撮影を行うことができます。

1 ライブビュー撮影の準備をする

- 「リモートライブビュー撮影」(p.25)の手順1～3を行います。

2 [ライブビュー機能/動画機能設定] をクリックする



→ [ライブビュー機能/動画機能設定] 画面が表示されます。

3 [静止画+動画]、[動画用] を選び、動画記録サイズを設定する

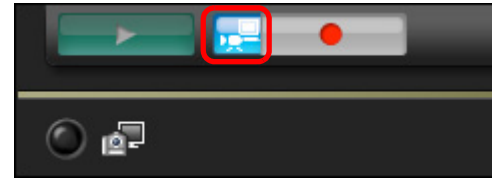


4 [OK] ボタンを押す


→ [ライブビュー機能/動画機能設定] 画面が閉じ、[リモートライブビュー画面] が表示されます。

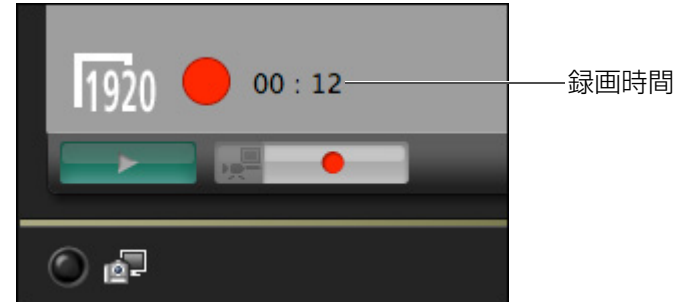
5 ピントを合わせる (p.28、p.30)


6 [リモートライブビュー画面] 左下の ボタンを押す




7 ボタンを押して撮影を開始する

→ [リモートライブビュー画面] の左下に、 マークと録画時間が表示されます。



●  ボタンをもう一度押すと撮影を終了します。

- ⚠ ● 撮影した動画データはカメラのメモリーカードに保存されます。そのため、撮影した動画データをパソコンに取り込むときは、本使用説明書の p.6～p.9 に記載されている方法で取り込んでください。
- リモートライブビュー撮影で、カメラ操作による動画撮影をするときも、 ボタンを押さないと撮影できません。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

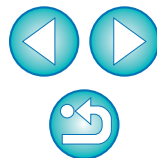
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



タイマー制御による自動撮影

設定した時間や枚数でカメラが自動撮影する、2種類のタイマー撮影を行うことができます。

タイマー撮影

設定した時間が経過すると自動的に1枚撮影することができます。

1 キャプチャー画面を表示する (p.25)

2 ボタンを押す

→ [タイマー撮影設定] 画面が表示されます。

3 遅延時間を入力して【開始】ボタンを押す

- 設定時間の範囲は、1秒単位で0分0秒～99分59秒です。
- 設定した時間が経過すると撮影されます。

インターバルタイマー撮影

設定した撮影間隔と撮影枚数にしたがって自動撮影することができます。

1 キャプチャー画面を表示する (p.25)

2 ボタンを押す

→ [タイマー撮影設定] 画面が表示されます。


3 【インターバルタイマー撮影を行う】をチェックする

4 撮影間隔と撮影枚数を入力する

- 撮影間隔の範囲は、1秒単位で5秒～99分59秒です。
- 撮影枚数は2枚から設定できます。また、設定できる撮影枚数は、パソコンのハードディスク空き容量によります。

5 【開始】ボタンを押す

→ 設定した時間の間隔で、設定枚数の撮影が行われます。

 パソコンによっては、撮影間隔の時間設定が短いと、画像の転送や保存が間に合わず、設定した間隔での撮影ができなくなることがあります。そのときは、撮影間隔の設定を長くして、再度撮影してください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

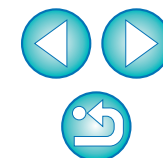
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



バルブ撮影

1 キャプチャー画面を表示する (p.25)

2 撮影モードアイコンをダブルクリックして、【BULB】を選ぶ



- 1Ds Mk III 1D Mk III 5D Mk II 以外では、カメラのモードダイヤルを <M> (マニュアル露出) に設定し、キャプチャー画面またはカメラでシャッター速度を 【BULB】 に設定してください。

3 絞り数値を設定する



4 [] ボタンを押す

→ [タイマー撮影設定] 画面が表示されます。

5 露光時間を入力して【開始】 ボタンを押す

- 露光時間の範囲は、1 秒単位で 5 秒～ 99 分 59 秒です。

露光時間を設定せずに、[] ボタンを押すことでバルブ撮影を開始 / 終了させることもできます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

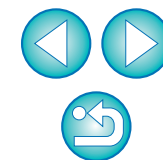
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



4 環境設定



EUの各種機能を環境設定画面で変えて、より使いやすくすることができます。

環境設定.....	41
基本設定.....	41
保存先フォルダ.....	42
ファイル名.....	42
画像取り込み.....	43
リモート撮影.....	43
連携ソフト.....	43

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

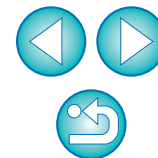
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引

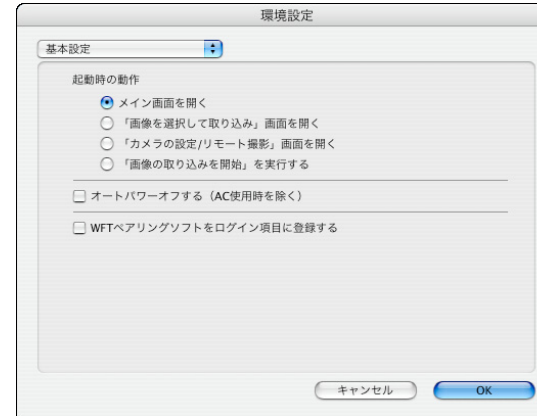


環境設定

- 1 メイン画面の【環境設定】ボタンを押す
→【環境設定】画面が表示されます。
- 2 各項目を設定して【OK】ボタンを押す
→設定内容がEUに適用されます。

基本設定

EUを立ち上げたときの動作や、オートパワーオフ機能のON / OFFを設定することができます。



- 【起動時の動作】で【「画像を選択して取り込み」画面を開く】を選んだときは、ビューワー画面 (p.7) が表示されます。
- 【起動時の動作】で【「カメラの設定/リモート撮影」画面を開く】を選んだときは、キャプチャー画面 (p.11) が表示されます。
- 【起動時の動作】で【「画像の取り込みを開始」を実行する】を選んだときは、【ファイル保存】画面 (p.6) が表示され、パソコンへの画像取り込みがはじまります。すべての画像が取り込まれると、DPPが自動的に立ち上がり、DPPのメイン画面に取り込んだ画像が表示されます。
- 【オートパワーオフする】をチェックすると、カメラ側のオートパワーオフ機能が有効になります。なお、チェックを外すと、カメラ側でオートパワーオフ機能を設定していても、オートパワーオフ機能は無効になります。(パソコンとの接続中のみ)
- 【WFTペアリングソフトをログイン項目に登録する】をチェックすると、WFTペアリングソフトが、メイン画面で【アクセサリ】タブ画面を選んだときに表示される、ログイン項目に登録されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

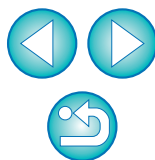
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



保存先フォルダ

カメラから取り込んだ画像や、リモート撮影した画像の保存先フォルダを設定することができます。



ファイル名

カメラから画像を取り込んだり、リモート撮影した画像のファイル名を設定することができます。



- 保存先フォルダを設定するときは、【参照】ボタンを押してください。【参照】ボタンを押して保存先フォルダを設定すると、設定した保存先フォルダの下に、サブフォルダが自動的に作成されます。
- 【画像取り込み】、【リモート撮影】、【フォルダ監視】のいずれかをチェックすると、チェックした機能を実行したときにサブフォルダが生成されます。
- 生成するサブフォルダの命名規則はリストボックスから選ぶことができます。また、【カスタマイズ】ボタンを押すことで、サブフォルダの命名規則をカスタマイズすることができます。



- 画像のファイル名を設定するときは、ファイルの命名規則をリストボックスから選びます。（【変更しない】を選んだときは、カメラで設定したファイル名で画像が保存されます）また、【カスタマイズ】ボタンを押すことで、ファイルの命名規則をカスタマイズすることができます。
- ファイル名の接頭文字、連番の数字桁数、開始数字は個別に設定することができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

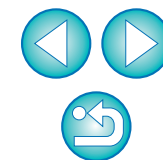
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



画像取り込み

メイン画面で【**画像の取り込みを開始**】をクリックしたときの、取り込み対象となる画像を、リストボックスから選ぶことができます。



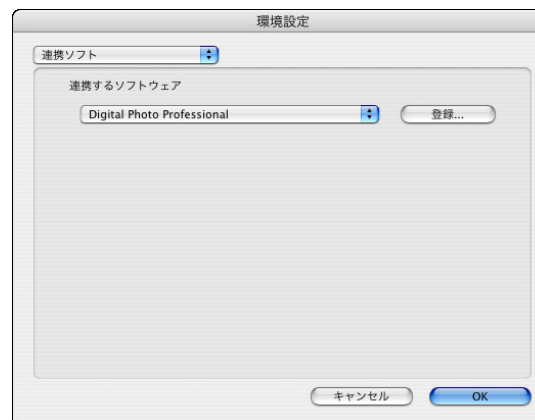
リモート撮影

リモート撮影したときの撮影画像をカメラ内のメモリーカードにも保存したり、撮影時のカメラ位置にかかわらず、撮影画像を回転させる機能を有効にすることができます。なお、回転角度の設定はキャプチャー画面 (p.55)で行います。



連携ソフト

カメラから画像を取り込んだり、リモート撮影したときに連携するソフトウェアを、リストボックスから選ぶことができます。また、【**登録**】ボタンを押すことで、他社製ソフトウェアを連携するソフトウェアとして登録することもできます。



- ImageBrowser を選んだときは、画像を取り込んだあとの動作を指定することができます。
- 【登録】 ボタンを押すと表示される画面では、他社製ソフトウェアを連携させるときに、通知する画像の種類を指定することができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

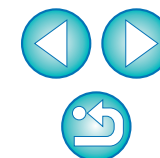
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引





EU を快適に使っていただくため、この「資料」を設けました。
各種のトラブル解決法や EU の削除方法の他、主要な画面の全表示内容を掲載しています。

また、章の最後には索引を設け、知りたいことを見つけやすくしています。

こんなときは.....	45
フォルダ監視機能 (WFT-E2、E3、E4 との連携機能).....	47
アクセサリとの連携機能.....	48
メモリーカード内のフォルダ構造とファイル名.....	49
ソフトウェアを削除する (アンインストール).....	49
カメラとプラグの固定.....	50
メイン画面の機能一覧.....	51
ビューワー画面の機能一覧.....	52
周辺光量補正データの登録画面の機能一覧.....	53
マイメニューの設定画面の機能一覧.....	54
キャプチャー画面の機能一覧.....	55
リモートライブビュー画面の機能一覧.....	56
拡大表示画面の機能一覧.....	57
テスト撮影画面の機能一覧.....	58
索引.....	59
この使用説明書について.....	60
登録商標について.....	60

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

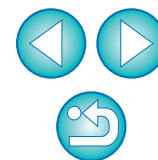
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



こんなときは

EU が正しく動作しないときは、下記の例を参考にチェックしてください。

手順どおりにインストールできない

- 管理者権限のあるアカウントでログインしないと、ソフトウェアをインストールすることができません。管理者権限のあるアカウントでログインしなおしてください。
ログイン方法、管理者の設定方法については、Macintosh や Mac OS X の使用説明書などを参照してください。

EU が立ち上がらない

- 手順どおりに操作しても EU が立ち上がらないときは、ソフトウェアの初期設定ファイルが壊れている可能性があります。すべてのソフトウェアを終了して、インターフェースケーブルをパソコンから取り外し、**[Preferences]** フォルダから正しく動作しない初期設定ファイルを削除して、EU を再起動してください。
システムが保存されているハードディスクドライブ ▶ **[ユーザ]** フォルダ ▶ ログインしているユーザーのフォルダ ▶ **[ライブラリ]** フォルダ ▶ **[Preferences]** フォルダの順に開き、下記の初期設定ファイルを削除します。

初期設定ファイル	内容
com.canon.EOS Utility 2.plist	EU の初期設定ファイル

EU とカメラが通信できない

- 動作環境と違ったパソコンでは、EU は正しく動作しません。動作環境にあったパソコンを使ってください。(p.2)
- インターフェースケーブルのプラグは、正しい向きでしっかりと根元まで差し込んでください。正しく接続されていないと、正常な通信ができないだけでなく、カメラやパソコンの故障の原因となります。(p.5)
- カメラの電源スイッチが〈ON〉になっているか確認してください。(p.5)
- EOS DIGITAL カメラ専用のキヤノン製インターフェースケーブル以外では、EU とカメラは正しく通信できないことがあります。(p.5)
- カメラとパソコンは、カメラに付属のインターフェースケーブルで直接接続してください。ハブを介してカメラとパソコンを接続すると、EU とカメラが通信できないことがあります。
- 複数の USB 機器（マウス、キーボードを除く）をパソコンに接続していると、正常に通信できないことがあります。正常な通信ができないときは、マウス、キーボード以外の USB 機器をパソコンから外してください。
- 1 台のパソコンに 2 台以上のカメラを接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- カメラのバッテリー残量が少ないと、EU との通信はできません。充電済みのバッテリーに入れ換えるか、カメラに付属の AC アダプターキットを使ってください。なお、インターフェースケーブルによるパソコンからカメラへの電源供給は行われません。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

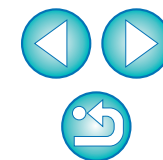
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



EU とカメラの通信が途中で切れる

- カメラのオートパワーオフ機能が働くと、自動的にカメラの電源が切れ、EU との通信ができなくなります。オートパワーオフ機能を OFF にするとき、環境設定の【基本設定】画面 (p.41) で【オートパワーオフする】のチェックを外すか、カメラでオートパワーオフ機能を【切】に設定してください。
- カメラとパソコンを接続したまま何も操作を行わないと、パソコン環境により、通信の継続を確認する画面が表示されることがあります。この画面が表示されたときに何も操作を行わないと、カメラとの通信が切断され、EU が終了します。その場合には、カメラの電源スイッチを〈OFF〉にしてから再度〈ON〉にして、EU を立ち上げてください。
- カメラとパソコンを接続している状態で、パソコンをスタンバイ（スリープ）状態にしないでください。万一、パソコンがスタンバイ状態になってしまったときは、インターフェースケーブルはパソコンから取り外さず、必ず接続したままでスタンバイ状態から回復してください。スタンバイ状態でインターフェースケーブルを取り外すと、パソコンの機種によってはスタンバイ状態から正常に回復しないことがあります。スタンバイ状態の詳細については、パソコンの使用説明書を参照してください。

EU でリモート撮影した画像が DPP で表示されない

- Digital Photo Professional 上で、メニューの【ツール】▶【EOS Utility とフォルダ同期】を選びます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

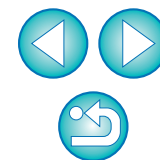
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



フォルダ監視機能 (WFT-E2、E3、E4 との連携機能)

ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E2、E3、E4 (別売) を使って、撮影した画像を Digital Photo Professional (以降 DPP) でリアルタイムに確認することができる機能です。

WFT-E2、E3、E4 の設定方法については、WFT-E2、E3、E4 に付属の使用説明書を参照してください。

1 【フォルダ監視】 をクリックする



→ 【フォルダ監視】 画面が表示されます。

2 【参照】 ボタンを押して、撮影画像の保存先フォルダを指定する



● WFT-E2、E3、E4 で設定した撮影画像の保存先フォルダを指定します。

3 【変更】 ボタンを押して、転送先フォルダを指定する



4 【】 ボタンを押す

→ 画像転送の準備ができました。

5 撮影する

→ 撮影画像が手順 2 で指定したフォルダに保存されると、手順 3 で指定したフォルダに転送/保存されます。

→ DPP が立ち上がり、手順 3 で指定したフォルダに保存された画像が表示されます。

⚠ 手順 2 と 3 で指定するフォルダを同じフォルダにすることはできません。

📄 手順 5 で連携して立ち上がるソフトウェアを、DPP から ImageBrowser や別のソフトウェアに変更することができます。(p.43)

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

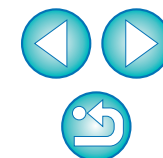
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



アクセサリーとの連携機能

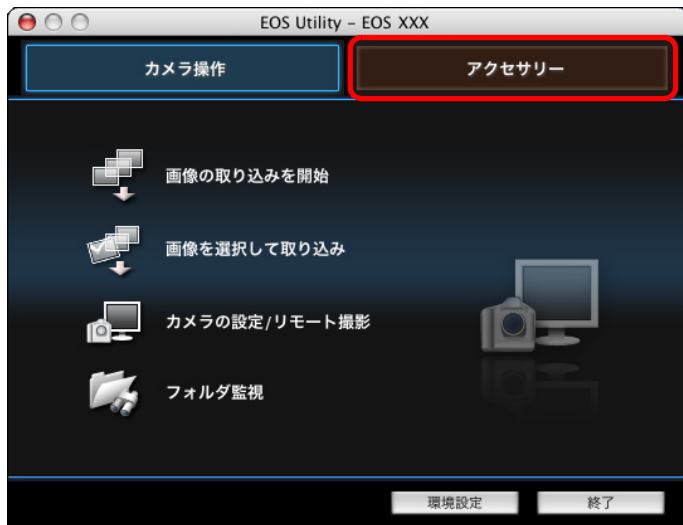
ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E2、E3、E4（別売）をお持ちの方は、EU から前記のアクセサリー用ソフトウェアを立ち上げることができます。

また、Picture Style Editor（ピクチャースタイルファイル作成用ソフトウェア）を立ち上げることもできます。

なお、それぞれのソフトウェアの詳しい使いかたについては、各ソフトウェアの使用説明書を、ピクチャースタイルファイルについては、[p.18](#)を参照してください。

1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.5)

2 【アクセサリー】 タブをクリックする



→ 【アクセサリー】 タブ画面が表示されます。

3 立ち上げたいソフトウェア項目をクリックする



→ クリックしたソフトウェアが立ち上がります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

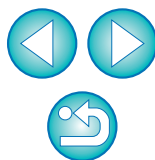
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



メモリーカード内のフォルダ構造とファイル名

カメラで撮影した画像は、メモリーカードの【DCIM】フォルダ内に、以下のフォルダ構造、ファイル名で保存されます。カードリーダーを使って、パソコンに撮影画像をコピーするときの参考にしてください。

フォルダ名	ファイル名	画像の種類
DCIM xxxEOS1D または xxxCANON	****YYYY.JPG	JPEG 画像
	****YYYY.CR2	RAW 画像
	****YYYY.MOV	MOV 動画
	****YYYY.WAV	音声ファイル

- ファイル名の **** には、工場出荷時の設定または、カメラで設定したカメラ固有の文字が入ります。
- ファイル名の YYYY には、0001 ~ 9999 までの数字が入ります。

カメラが【DCIM】フォルダ内の画像を管理するためのファイルが入っています。

- フォルダ名の xxx には、100 ~ 999 までの数字が入ります。
- 1D シリーズカメラの CF カード、SD カードのフォルダ構造は同じです。
- カメラで DPOF の設定を行うと【MISC】フォルダが作成されます。【MISC】フォルダには、DPOF の設定内容を管理するファイルが保存されています。

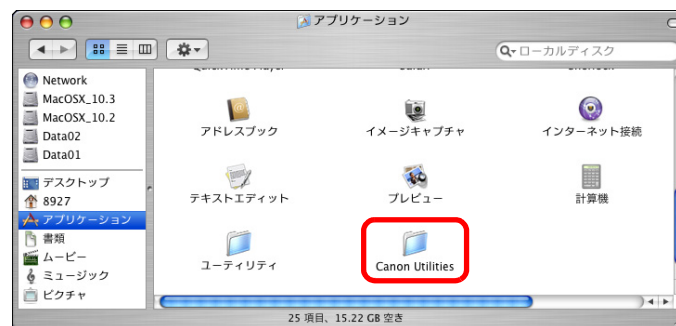
Adobe RGB に設定し撮影した画像は、ファイル名の先頭文字が「_」（アンダーバー）になります。

ソフトウェアを削除する（アンインストール）

- ソフトウェアの削除をはじめる前に、立ち上がっているすべてのソフトウェアを終了してください。
- ソフトウェアの削除を行うときは、インストールしたときのアカウントでログインしてください。
- 削除するフォルダやソフトウェアをゴミ箱に移動したときは、メニューの【Finder】▶【ゴミ箱を空にする】を選び、ゴミ箱を空にしてください。ゴミ箱を空にしていない状態では、ソフトウェアの再インストールはできません。

1 ソフトウェアが保存されているフォルダを表示する

- 【Canon Utilities】フォルダを開きます。



2 【EOS Utility】フォルダをゴミ箱に移動する

3 デスクトップ上でメニューの【Finder】▶【ゴミ箱を空にする】を選ぶ

→ EU が削除されます。

4 パソコンを再起動する

⚠️ ゴミ箱を空にして削除したデータは復元することができません。十分に確認してから削除してください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

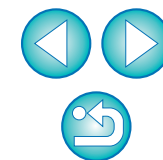
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引

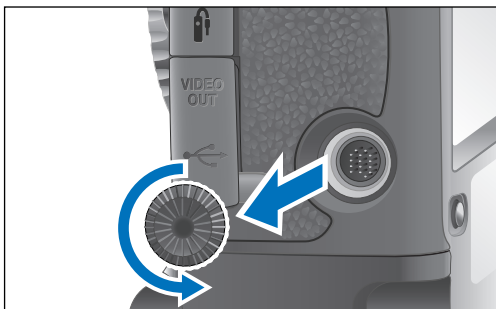


カメラとプラグの固定

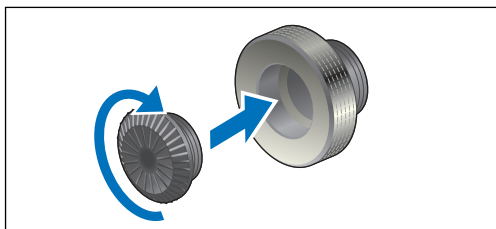
📷 1Ds Mk III 1D Mk III

リモート撮影中に、カメラからプラグが抜けないよう、カメラとプラグをケーブルプロテクターで固定します。

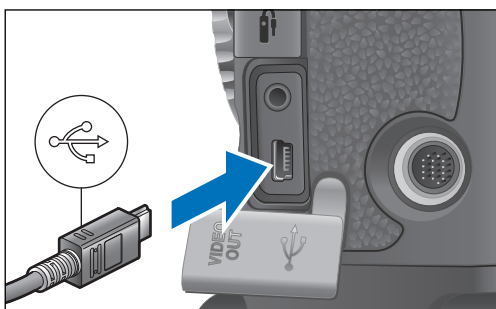
1 キャップを取り外す



2 キャップを取り付けネジに取り付ける

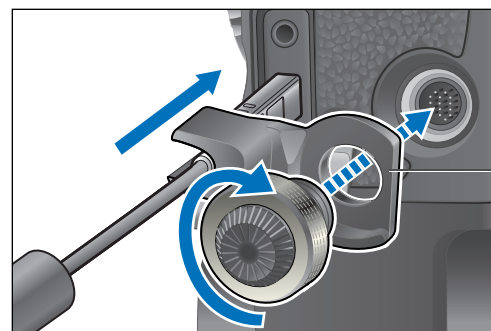


3 ケーブルの小さい方のプラグを、カメラの〈⌂〉端子に差し込む



● プラグの〈⌂〉マークをカメラの前面に向けて差し込みます。

4 ケーブルプロテクターを取り付け、取り付けネジで固定する



ケーブルプロテクター

はじめに

やりたいこと
目次

画像取り込み
1

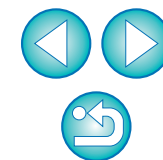
カメラ設定
2

リモート撮影
3

環境設定
4

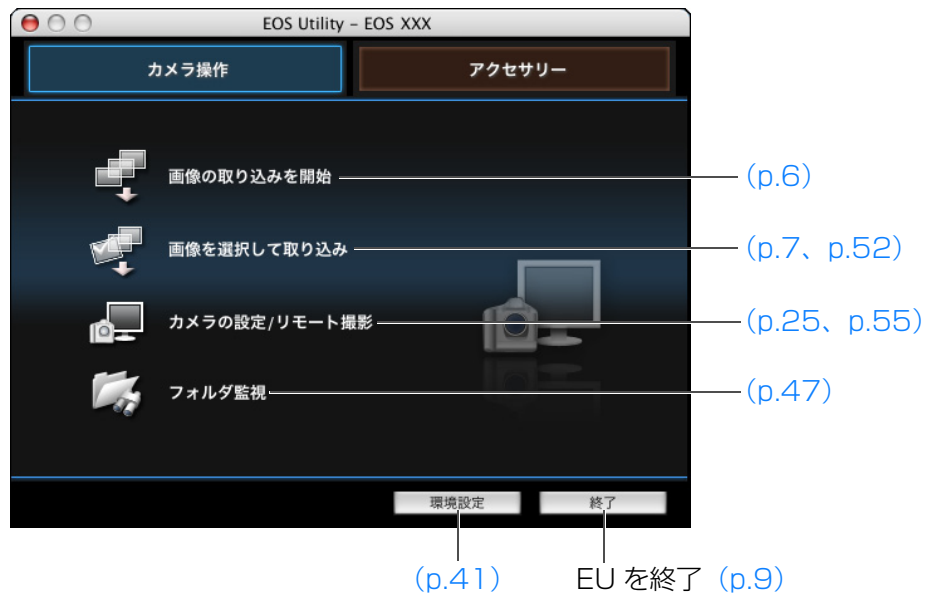
資料

索引



メイン画面の機能一覧

カメラ操作タブ画面



アクセサリタブ画面



はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

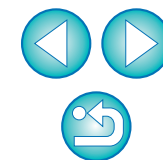
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引

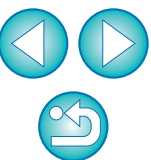


ビューワー画面の機能一覧 (p.7)

The screenshot shows the EOS Utility software interface with the following labels and functions:

- 記録メディアの切り換え**: Record media switching (top left navigation buttons).
- 記録メディアのフォルダ階層**: Record media folder hierarchy (left sidebar).
- RAW+JPEG 画像マーク**: RAW+JPEG image mark (top left of image thumbnails).
- キャプチャー画面表示**: Capture screen display (bottom left icons).
- クイックプレビュー画面表示**: Quick preview screen display (bottom left icons).
- パソコンへの画像取り込み**: Image import to PC (bottom left button).
- 画像の消去**: Image deletion (bottom left button).
- チェックマーク (p.7)**: Checkmark (bottom center button).
- 環境設定画面表示**: Environment settings screen display (bottom center button).
- メイン画面表示**: Main screen display (bottom right button).
- EU を終了**: End EU (bottom right button).
- 画像表示の大きさ**: Image display size (bottom right zoom controls).
- RAW 画像マーク**: RAW image mark (top left of image thumbnails).
- sRAW+JPEG 画像マーク**: sRAW+JPEG image mark (top left of image thumbnails).
- プロテクトマーク**: Protect mark (top left of image thumbnails).
- 音声録音マーク**: Audio recording mark (top left of image thumbnails).
- ブラケティング撮影マーク**: Bracketing shooting mark (top left of image thumbnails).
- 動画マーク**: Video mark (top left of image thumbnails).
- 一度パソコンに取り込んだマーク**: Mark once imported to PC (top right of image thumbnails).
- 画像の選択条件**: Image selection conditions (top right of image thumbnails).

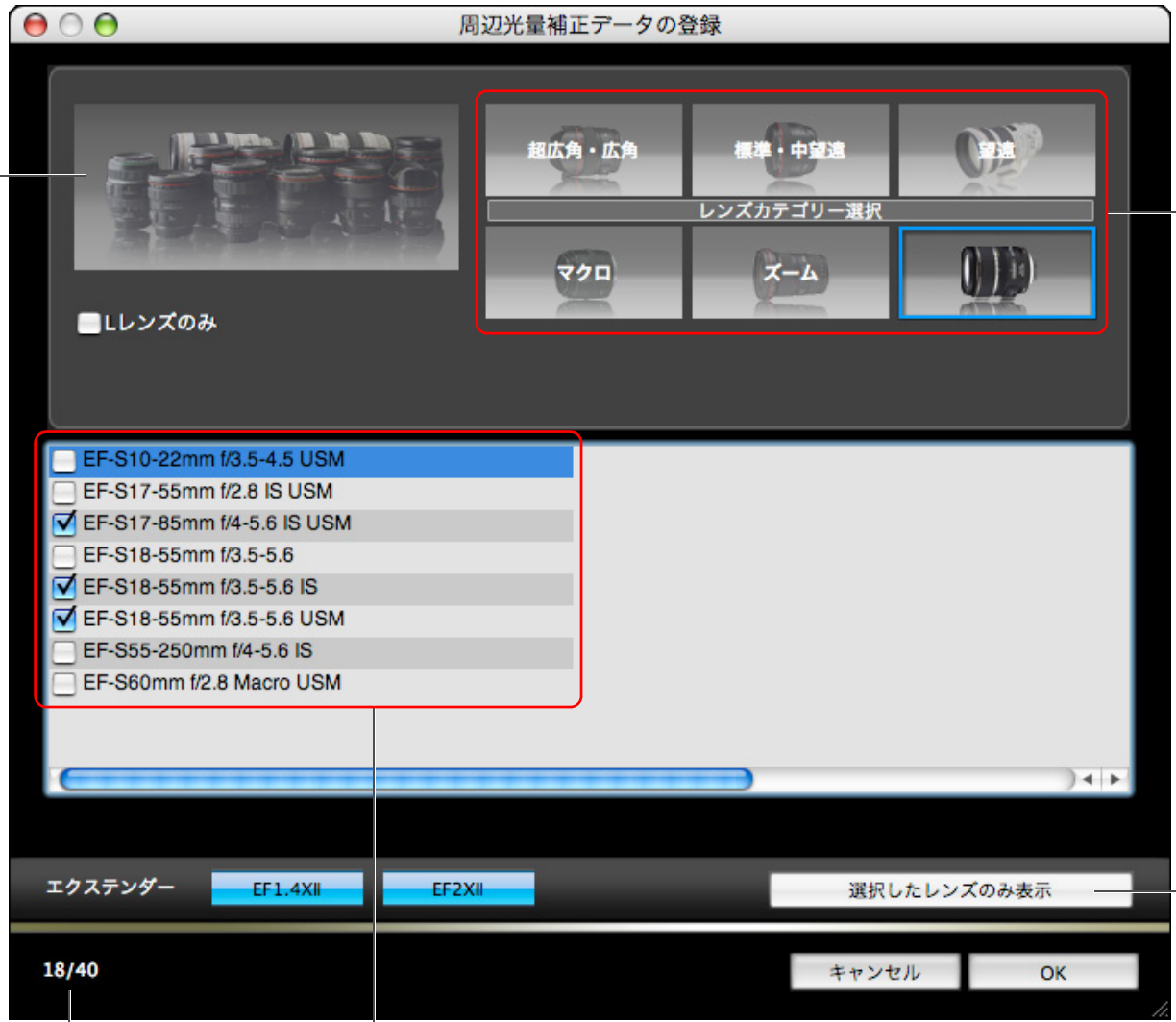
- はじめに
- やりたいこと目次
- 1 画像取り込み
- 2 カメラ設定
- 3 リモート撮影
- 4 環境設定
- 資料
- 索引



周辺光量補正データの登録画面の機能一覧 (p.21)

- はじめに
- やりたいこと目次
- 1 画像取り込み
- 2 カメラ設定
- 3 リモート撮影
- 4 環境設定
- 資料
- 索引

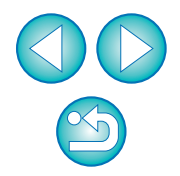
すべてのカテゴリを表示



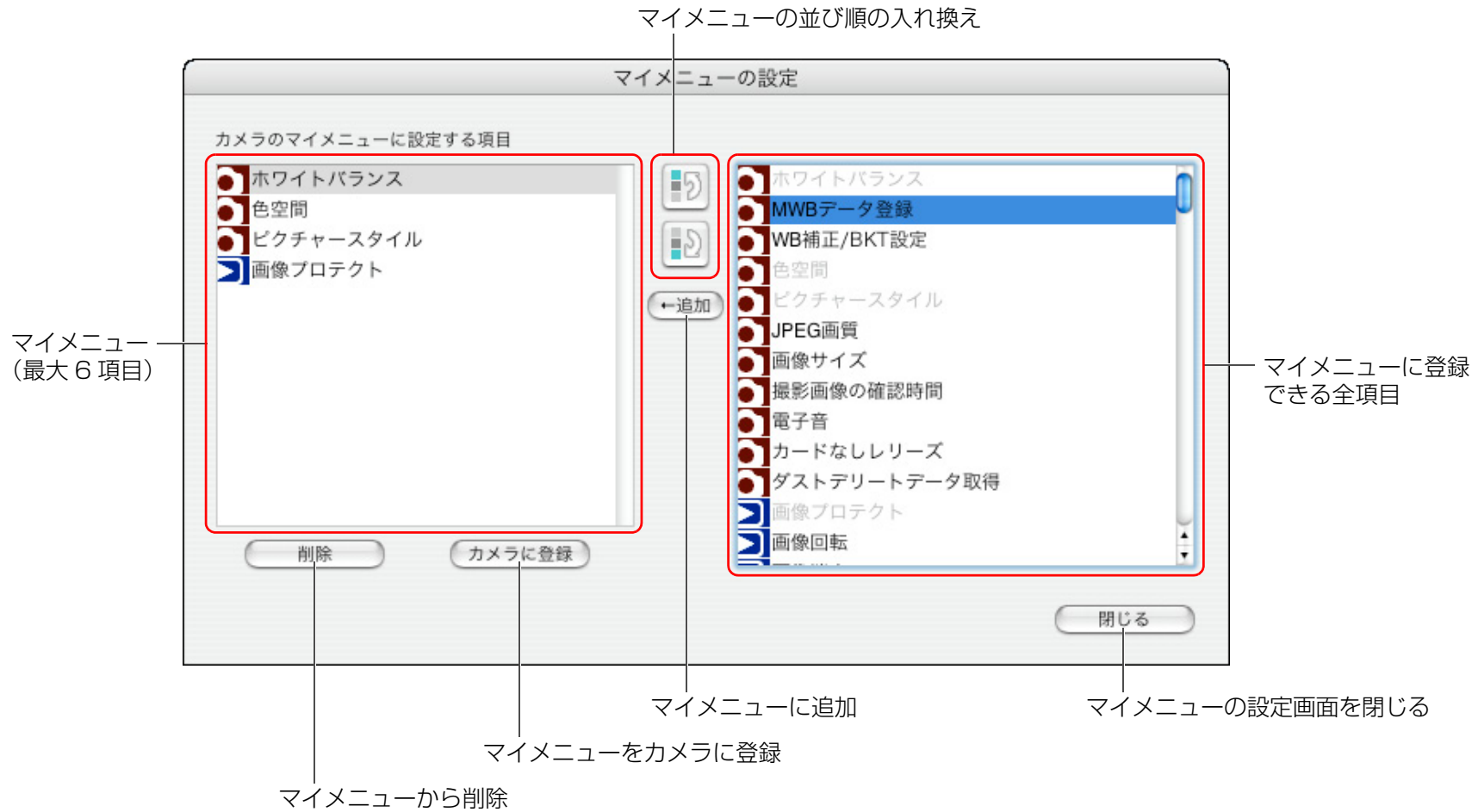
レンズのカテゴリ

登録されているレンズのみを表示

【レンズカテゴリ選択】で選ばれた、カテゴリ別のレンズを表示
カメラに登録されているレンズの数 / 登録可能なレンズの数



マイメニューの設定画面の機能一覧 (p.22)



はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

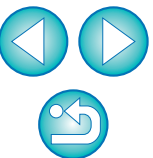
2
カメラ設定

3
リモート撮影

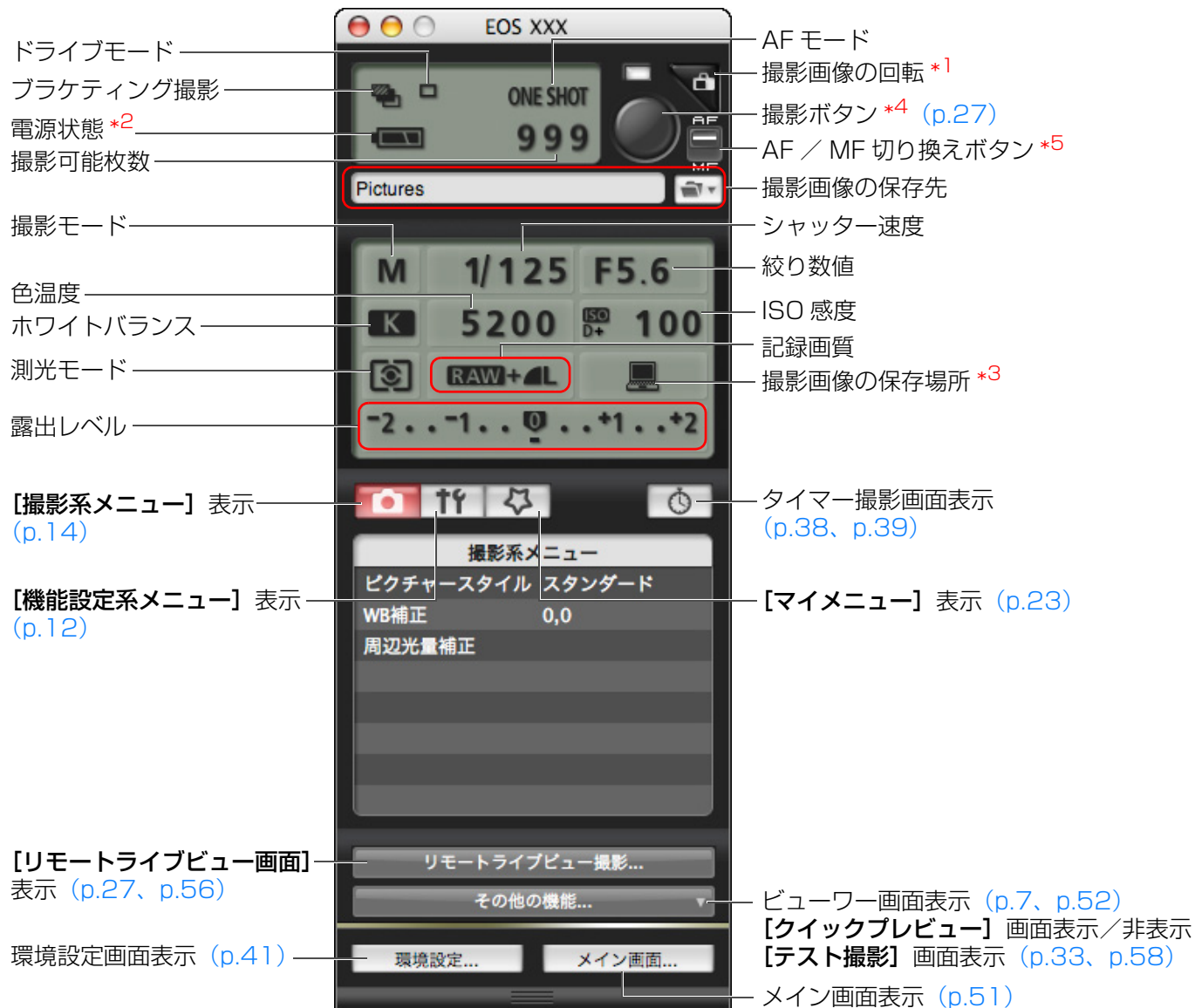
4
環境設定

資料

索引



キャプチャー画面の機能一覧



*1 ボタンを押すたびに、撮影画像が 90 度単位で回転します。
この機能を有効にするには、環境設定の【リモート撮影】画面 (p.43) で、【画像の回転機能】をチェックしてください。

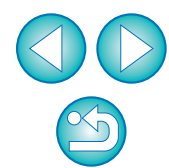
*2 バッテリーを使っているときは、バッテリー残量が表示されます。

*3 撮影画像の保存場所をパソコンのみにするか、パソコンとカメラ内のメモリーカードの両方に保存するかを選ぶことができます。

*4 5D Mk II 50D では、AF / MF 切り換えボタンが【AF】に設定されているときに、撮影ボタンにカーソルを重ねると、AF / AE が行われます。

*5 5D Mk II 50D のみ表示されます。【MF】に設定されているときでも、撮影した画像の撮影情報は「AF」になります。なお、カメラの撮影モードが〈A-DEP〉に設定されているときは、このボタンは無効になります。

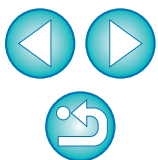
- はじめに
- やりたいこと
目次
- 1
画像取り込み
- 2
カメラ設定
- 3
リモート撮影
- 4
環境設定
- 資料
- 索引



リモートライブビュー画面の機能一覧 (p.25)



- はじめに
- やりたいこと目次
- 1 画像取り込み
- 2 カメラ設定
- 3 リモート撮影
- 4 環境設定
- 資料
- 索引

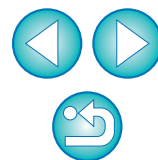


拡大表示画面の機能一覧 (p.28)



* [📷] ボタンを押すと、カメラの液晶モニターを見ながらピントを合わせるのに適した画質になり、[💻] ボタンを押すと、パソコンの画面を見ながらピントを合わせるのに適した画質になります。

- はじめに
- やりたいこと目次
- 1 画像取り込み
- 2 カメラ設定
- 3 リモート撮影
- 4 環境設定
- 資料
- 索引



テスト撮影画面の機能一覧 (p.33)



- はじめに
- やりたいこと目次
- 1 画像取り込み
- 2 カメラ設定
- 3 リモート撮影
- 4 環境設定
- 資料
- 索引



* 【クリックホワイトバランス】 画面を表示 (p.34) して、画像の白の基準となる箇所にカーソルを重ねたときのみ表示

索引

英数字

AFによるピント合わせ	30
EOS Utilityの終了	9
EOS Utilityの立ち上げ	5
JPEG記録画質の設定	20
WFT-E2、E3、E4との連携機能	47

あ

アスペクト比の変更（リモートライブビュー撮影）	35
アンインストール	49
インターバルタイマー撮影	38

か

カードリーダーによる画像の取り込み	9
拡大表示画面	29、57
カスタムホワイトバランスの適用	19
画像取り込みの設定（環境設定）	43
画像の著作権情報の設定	11
画像を選んで取り込み	7
カメラ操作による撮影	36
カメラとパソコンを接続する	5
カメラの所有者名の設定	11
カメラの垂直を出す（リモートライブビュー撮影）	35
カメラの水平を出す（リモートライブビュー撮影）	35
カメラの日付／時刻の設定	11
環境設定	41
画像取り込みの設定	43
基本設定	41
ファイル名の設定	42
保存先フォルダの設定	42
リモート撮影の設定	43
連携ソフトの設定	43

機能設定系メニュー（キャプチャー画面）	12
基本設定（環境設定）	41
キャプチャー画面	55
機能設定系メニュー	12
撮影系メニュー	14
マイメニュー	23
クイックモードでピントを合わせる（リモートライブビュー撮影）	30
ケーブルプロテクターの取り付け	50

さ

撮影系メニュー（キャプチャー画面）	14
自動（AF）でピントを合わせる（リモートライブビュー撮影）	30
周辺光量補正データの登録画面	53
手動でピントを合わせる（リモートライブビュー撮影）	28
ストロボ撮影時のホワイトバランス（リモートライブビュー撮影）	33
すべての画像を一括して取り込み	6
ソフトウェアの削除	49

た

対応カメラ	2
タイマー撮影	38
テスト撮影画面	58
動画撮影	37
動作環境	2

は

バルブ撮影	39
ピクチャースタイルの設定	15
ピクチャースタイルファイルの適用	18
被写界深度と露出を確認する（リモートライブビュー撮影）	32
ビューワー画面	7、52
ファイル名の設定（環境設定）	42
フォルダ構造とファイル名	49
保存先フォルダの設定（環境設定）	42
ホワイトバランスの補正	21

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

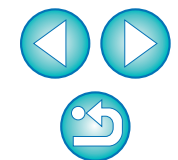
2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引



ま	
マイメニューの設定	22
マイメニューの設定画面	23、54
マイメニュー（キャプチャー画面）	23
メイン画面	51
メモリーカード内のフォルダ構造とファイル名	49
ら	
ライブ顔優先モードでピントを合わせる（リモートライブビュー撮影）	32
ライブモードでピントを合わせる（リモートライブビュー撮影）	31
リモート撮影の設定（環境設定）	43
リモートライブビュー画面	27、56
リモートライブビュー画面の機能	28
アスペクト比の変更	35
カメラの垂直を出す	35
カメラの水平を出す	35
クイックモードでピントを合わせる	30
手動でピントを合わせる	28
ストロボ撮影時のホワイトバランス	33
被写界深度と露出を確認する	32
ライブ顔優先モードでピントを合わせる	32
ライブモードでピントを合わせる	31
リモートライブビュー画面のホワイトバランスを変更する	33
リモートライブビュー画面のホワイトバランスを変更する（リモートライブビュー撮影）	33
リモートライブビュー撮影	25
連携ソフトの設定（環境設定）	43
レンズ周辺光量補正データの登録	21
わ	
ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E2、E3、E4 との連携機能	47

この使用説明書について

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ソフトウェアの仕様および、本書の内容を予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、実際のソフトウェアと微小に相違することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一、誤りや記載もれなど、お気付きの点がありましたら、別紙のサービス窓口までご連絡ください。
- ソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

登録商標について

- Macintosh は、米国および他の国で登録された米国アップル社の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

はじめに

やりたいこと
目次

1
画像取り込み

2
カメラ設定

3
リモート撮影

4
環境設定

資料

索引

